

さつぽろライラックまつり  
二十五年のあゆみ



1959-1983

家ごとに

リラの花咲き

札幌の

人は楽しく

生きてあるらし

吉井 勇

●さつぼろの木  
ライラック

もくせい科の落葉灌木で、アメリカ人が札幌へもちこんだのが日本で最初といわれている。花はスマートで、色は大別して白と紫の二色がある。ライラックは英名で、リラはフランス名、ムラサキハシドイが和名である。

目次 ■さつぼろライラックまつり二十五年のあゆみ

さつぼろライラックまつり二十五を顧みて……………板垣 武四……………2	記念誌発刊に寄せて……………小泉徳太郎……………3
写真が語る／五月の光と風とライラック……………4	さつぼろライラックまつり二十五年……………17
回想…更科源藏・国松 登・九島勝太郎・寺島伸治……………23	記録／二十五年のあゆみ……………27
年譜……………50	あとがき……………貴志 功……………52

さつぽろライラックまつり

二十五年のあゆみ

## さっぽろライラックまつり 25年を顧みて



札幌市長  
板垣 武四

昭和34年、多くの関係者が文化の香り高いまつりをめざしてはじまったライラックまつりも今では、観客数30万人を超えるまでに発展いたしました。

25年、さまざまな困難をのり越えてこれまでに発展しましたかげには、市民各層の協力はもとより文化団体協議会、北海道銀行、報道機関など、多くの方々のご支持があったからこそと存じます。

ここに深く感謝申し上げます。

25年という節目を迎えるにあたり、記念行事の一環として本誌を発刊するに至りました。

今後のライラックまつりの発展の一助になり得れば幸いと存じます。



## さっぽろライラックまつり 記念誌発刊に寄せて



第25回さっぽろライラックまつり実行委員会

会 長

小 泉 徳太郎

さっぽろライラックまつり25年記念誌の発刊にあたり、一言お祝い申し上げます。

昭和34年、『第1回さっぽろライラックまつり』が開催されてから今年で第25回を迎えるに至りました。

多くの困難をのり越えてこれまでに発展しましたかげには、関係各位の熱意と努力があったからこそと存じます。

ライラックまつりも、札幌市の四大まつりの一つとして市民に愛され、昨年の観客数は30万人を超えるまでに成長いたしました。

ここに25年という節目を迎え、一層市民に愛され親しまれるまつりとなるよう、皆さまのご提言をいただき最善の努力を傾注する決意でございます。



# 夢はぐくむ

植樹祭

# 五月の光と風とライフラック



第20回=昭和53年



高知市『おうちまつり』と花の交換/第11回=昭和44年



第17回=昭和50年



第7回=昭和40年



ミュンヘン市との姉妹都市提携10周年記念セレモニー/第24回=昭和57年

# パレード街をゆく

交通安全・環境美化推進



第18回＝昭和51年



第25回＝昭和58年



第18回＝昭和51年



第11回＝昭和44年



第12回＝昭和45年



第12回＝昭和45年

香るメロディー  
歌唱指導／コーラス／ミニコンサート



第14回＝昭和47年



第16回＝昭和49年



第21回＝昭和54年



第24回＝昭和57年



第20回＝昭和53年



# 花好きサッポロ

苗木と花の種子のプレゼント



第17回=昭和50年



第24回=昭和57年



第25回=昭和58年



第24回=昭和57年



第25回=昭和58年

# ビル街の水しぶき

錦鯉の放流



第25回=昭和58年



第24回=昭和57年

# 白い造型

野外彫塑展



第7回=昭和40年



第12回=昭和45年



第12回=昭和45年

# 今日は、太陽くん

ラジオ体操コンクール



第21回=昭和54年



第21回=昭和54年

ハ  
ン  
リ  
の  
世  
界



第25回=昭和58年



第22回=昭和55年



第25回=昭和58年

SFへの誘い  
移動天文車(アストロカー)



第12回=昭和45年



第12回=昭和45年



第25回=昭和58年



第22回=昭和55年

ひとりの世界  
写生会

# 五月のアーチスト

## 孔画教室



第24回＝昭和57年



第24回＝昭和57年



第25回＝昭和58年



第21回＝昭和54年



第16回＝昭和49年

市民ギャラリー

# 心豊かに

青空文庫

札幌アートパーク／チビっ子芸術広場



第21回＝昭和54年



第22回＝昭和55年



第24回＝昭和57年



第25回＝昭和58年



第22回＝昭和55年



第24回＝昭和57年



第22回＝昭和55年



# 楽しきレクリエーション

さつぽろ音楽祭

七十



第21回=昭和54年

エトモダンス/第14回=昭和47年

子供バレエ/第14回=昭和47年

ファッションショー/第12回=昭和45年

NHK文化講演会/第6回=昭和39年



紙芝居/第15回=昭和48年

子供バレエ/第14回=昭和47年

ファッションショー/第12回=昭和45年

NHK「音楽の広場」/第12回=昭和45年



花の北海道まつり

第12回=昭和45年



第24回＝昭和57年

落語／第24回＝昭和57年

人形劇／第21回＝昭和54年

どさんこ太鼓／第18回＝昭和51年

剣詩舞／第16回＝昭和49年



ザ・チョン座／第24回＝昭和57年

落語／第22回＝昭和55年

ジャンボ紙芝居／第20回＝昭和53年

演奏会、第17回＝昭和50年



第15回＝昭和48年

応援団演技合戦



工芸品・いけ花の展示

第17回＝昭和50年

# 額の無い絵 似顔絵プレゼント



第22回=昭和55年



芥川賞作家高橋揆一郎さんも22回には健筆を



第22回=昭和55年



第15回=昭和48年

光るレンズ



第14回=昭和57年



第22回=昭和55年



第11回=昭和44年

# 光るレンズ 写真撮影会



# 雅趣

野だて



第22回＝昭和55年



第24回＝昭和57年



第25回＝昭和58年



第15回＝昭和48年



第22回＝昭和55年



第22回＝昭和55年



第20回＝昭和53年



第20回＝昭和53年

乗り込んで  
きた北大祭

# ライラック娘とミスさっぽろも一役



第16回＝昭和49年



第16回＝昭和49年



第24回＝昭和57年

第25回＝昭和58年

# 憩う コーヒーとお茶のサービス



第16回＝昭和49年

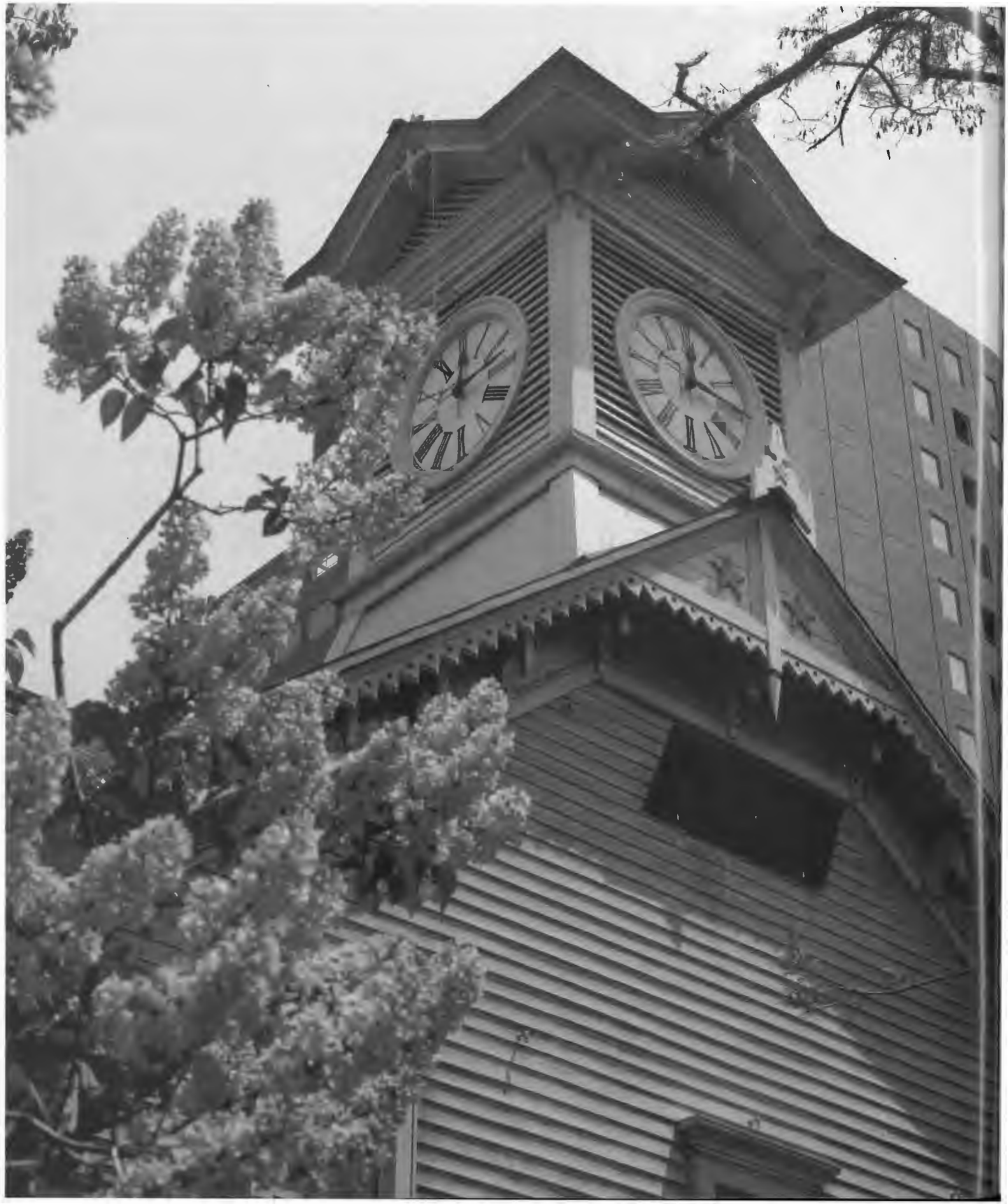


第16回＝昭和49年

第七回(昭和四十年)から恒例になった道銀ビルの懸垂幕(北海道銀行提供)



さっぽろライオンラックまつり二十五年



# 「さっぽろライラックまつり」の誕生

第二次世界大戦で物心両面に甚大な戦禍を受けた日本は、混迷から復興へと再建の道をもとめて必死に歩みつづけた。苦渋に満ちた受難時代をくぐりぬけ、昭和三十年には神武景氣がはじまり、『もはや戦後でない』が翌三十一年の流行語になった。三十九年十月にひらかれた東京オリンピックは、日本の完全な復興と国際社会への復帰を内外に誇示したものでいえよう。

この間、三十三年に世界初の海底「関門トンネル」が開通し、一万円札が新登場している。北海道大博覧会が札幌・小樽でひらかれた年でもある。翌三十四年に皇太子殿下がご成婚、ミッチャームがおこり、新語「カミナリ族」が流行した。千歳空港が米占領軍から全面的に返還されたこの年、『第一回さっぽろライラックまつり』が産声をあげたのである。

この年、のちに札幌四大まつりといわれる『さっぽろ雪まつり』は第十回、『さっぽろ夏まつり』は第六回をかぞえ、『さっぽろ菊まつり』はこの後、三十八年（第一回札幌菊花展）札幌市教育委員会・札幌菊花同好会共催Ⅱは三十六年開催）に催された。

『第一回さっぽろライラック祭』はライラックの花香る昭和三十四年五月二十九日の前夜祭で幕をあげ、三十一日までの三日間、大通西六丁目広場、市民会館、中島スポーツセンターの三会場で行われた。主催団体には札幌市、札幌市教育委員会、札幌観光協会、札幌レクリエーション協会、全北海道文化団体連絡協議会、NHKが名を連ねている。

このライラックまつりの趣旨や提唱者、推進母体については、当時の関係者の証言のほか、文化団体協議会やNHKなど推進の中核をなした関係団体の現存する記録、新聞報道などからほぼ正確に確認できる。

昭和三十四年のNHK札幌中央放送局局報は「北海道の五月はライラックの季節である。ライラックの花は、鈴蘭と並んで初夏

の北国の象徴として街に明るい話題を投げかけ、人々に愛され、北海道の歴史とともに生きている。この咲きにおうライラックの木の下で語りあい、たのしいひとときを過ごそう、という趣旨」と伝え、第四回（昭和三十七年）開催基本要綱は「札幌市の象徴であるライラックの花にちなんだ種々の行事を通して、市民の花に対する愛情を深め、芸術文化の昂揚を図ると共に、市民の健全なレクリエーションに資する」とうたっている。

ちなみに、当初、開催要綱に記されていた名称『さっぽろライラック祭』が『さっぽろライラックまつり』にあらためられたのは、第五回（昭和三十八年）以降からである。

ライラックまつりの提唱者については「昭和三十四年に詩人の更科源蔵さんや画家の国松登さんらが『ロマンのマチらしいまつりがあったら……』と、札幌の『パリ祭』としてスタートしたライラックまつり」（北海道新聞Ⅱ昭35・5・26）「ライラックまつりが始まったのは昭和三十四年。『雪に閉ざされた冬が終わり、青い空と黒い土にめぐり合った喜びを表現しよう』と郷土史家の更科源蔵さんや画家の国松登さんら文化人が発想した。心のまつり」だった」（ミレⅡ昭53）と伝えられている。

なかでも、NHK札幌中央放送局が記録した第一回の催しものの概況報告は、「二十九日の前夜祭は会場の市民会館に約二千人が詰めかけた。当日は六時半からライラック放談会Ⅱ発起人放談会Ⅱ（更科源蔵、国松登、栗谷川健一、渡辺茂）で『このおまつりのご神体は何でしょう』に爆笑がうずまいた」と、具体的に登起人名をあげている。

ちなみに、この日のライラック文化講演会の講師に作家の三島由起夫、曾野綾子が予定されていたが、当日はかわって高見順、小林秀雄が登場している。

この間の消息をより具体的にうかがえる貴重な資料を、当時、

ライラックまつりの実現と行事の推進に熱意を示されたNHK札幌中央放送局からご提示いただいた。昭和五十三年六月三日、IK第四スタジオで行われた座談会『北海道とNHK』の収録原稿である。まことに興味深いので関係部分を抜粋して紹介したい。

**更科** 誰が言い出したのでもなく、札幌の家の庭にはたいていライラックがあるんだから、ライラックの咲く頃、大通りに集まってビールでも飲んで、歌ったり踊ったりしようじゃないか、という話をしましてね。ところがね、あのときは確か（市長は）原田さんでしたね、（大通公園を）貸さないって言うんですよ。（笑）そのままポジションとなっていたところへ熊谷さん（元NHK札幌中央放送局放送部長）がいらして、それはおもしろいからやろうじゃないかっていうことになって、何だから、ライラック用ベレーなんてかぶりましてね。しまいには原田さんもきて、そのベレーをかぶってましたよ。

**平瀬** 観光当局の話によりますと、NHK——そのかげには更科先生などがいらつしやるのですが、NHKを通してそういうはたらきかけがあつてですね、ライラックまつりを始めたんだと、そう思っていますよ。

**更科** 熊谷さんが、やりましょう、やりましょうと、先頭に立ってやってくれましたからね。

当時、小林秀雄や高見順なんか呼びましてね、文化講演会なんてやりましたよ。高見順の講演のとき、演壇のわきへライラックの花を置いたんです。ライラックというのは、花が開かないうちは少し黒ずんでいるんですね。それを見て高見順が、「なんだ、こんなこきたない花、ここへ置いて」と言いました。（笑）

## 市民の愛情と協力で四大まつりに成長

今日、さっぽろライラックまつりは『さっぽろ雪まつり』『さっぽろ夏まつり』『さっぽろ菊まつり』とならんで札幌四大まつり



街路に植樹されたライラック／第7回＝昭和40年

今年からまたライラックまつりは盛んになっているようですが、『ライラックのうた』ってありますね。あれもNHKが募集しまして、多少、私が入れて直しましたんですけど、今年あたりからまたあちこちで歌われるようになってきたようです。

【注】更科＝更科源蔵さん、平瀬＝平瀬徹也前札幌市助役。出席者はほかに大野精七さん、NHK札幌中央放送局関係者。

りに成長し、さわやかな初夏の訪れとともに、百五十万市民から心たのしく待たれる行事として定着している。

だが、創設の発想や気運が自由とロマンをもとめる文化人の間から醸成されただけに、その具体化や運営——いわゆる草創期の基盤確立までには紆余曲折がみられ、関係者の労苦はなみなみならぬものがあつた。

今日の成果は、中核となった札幌文化団体協議会の熱意の結実であることはいうまでもなく、新聞・放送などマスコミ機関のバックアップも力強い推進力となっている。

とくに草創期、ライラックの花に似て香気ゆたかな文化的行事をもとめ、プログラムの編成に全面的な協力をいただいたNHK札幌中央放送局には敬意を表したい。中央から有名人を招いてのライラック文化講演会、楽しい公開番組の提供などにつとめ、ライラックまつりの内外に対するPR、市民参加の誘因に大きな力を発揮された。

また、初期から中期にかけて催しものの目玉であつたファッションショーを構成し、現在はライラックまつりの運営に欠かせない『ライラック娘』を参加させ、奉仕と彩を添えられた北海道私立専修学校各種学校連合会の草創期からの力添えは感謝にたえない。

さらに、初回から参加して市民を魅了した札幌吹奏楽団、交響楽団、コーラスグループ、楽しいバレエや民俗舞踊で好評だった

## 香り高く心豊かな市民参加のまつりに

「札幌の人はおすまし屋が多い。せつかくのまつりを素通りしてしまう」（更科源蔵さん）という声が聞かれる。「よそ者のまつり」にしない「努力」が必要」（ミレ昭53）であり、市民からの盛りあがり期待するためにも、文化の香りを大事にした市民本位のまつりに育てる努力と工夫がとめられよう。

初回から第二十五回までの催しものうつりかわりを見ると、文化的香気を失わない催しもの選択と老若男女、市民各層への

市内舞踊研究団体や婦人団体、野外彫塑展の市内各小中学校、写生会の指導や市民ギャラリーの運営に協力をいただいた美術団体、名物となった野だての茶道各流派、人气的である似顔絵プレゼントの札幌漫画人協会、花の種子のプレゼント、コーヒーマシンのビスを快諾された中央農林金庫札幌支所、札幌喫茶店同業組合など、協力をいただいた団体は十指にあまる。

なかでも北海道銀行は、行花の『ライラックの花』にちなんで、初回から積極的に協賛された。初回、ライラックのリボンを市民にプレゼントしたのを手はじめに、第二回（昭和三十五年）から行われた植樹祭に今日まで、ライラックの成木・幼木あわせて百九十五本、市民へのプレゼント用苗木二万六千二百本余を寄贈、ほかに造花、ワッペン、シール、シノソート、パンフレットなど数多く提供をつづけている。

また、第七回（昭和四十年）から毎回、大通公園に面した道銀ビル東側に懸垂幕を掲出し、ライラックまつりのPRと盛りあがりにつとめている。

さつぽろライラックまつりは、これら市民各層から寄せられた有形無形の協力と愛情を糧に歩みつづけて市民生活に定着し、道都さつぽろにふさわしい「まつり」に成長したといえよう。

配慮を基幹に、時代感覚への即応、青少年への期待、伝統芸術の紹介、民俗芸術の発掘、商業政策的、観光行政的色彩の偏重を回避しての初心へのUターンなど、市民総参加のねがいと努力のあとがうかがえる。また、市民のだれもが気軽に参加して楽しめる企画の工夫もみられる。

これまでの催しものうつりかわりを総観して今後の企画・運営に資し、いっそうの盛況を期待したい。

## 仮装パレードと舞踊会 第一回と第二回に行われた。自由で開

放的な芸術家たちの強い提唱で実現したものである。市内文化団体と洋裁学校生徒らにより、第一回は午後四時に大通西八丁目を出発して中島スポーツセンターまで練り歩き、五時から同センターで仮装舞踏会に興じている。第二回は市民会館と大通西七丁目広場の間を練り歩いているが、舞踏会の記録はない。

この二回で事成れりと満足したのか、ハメを外したはしやぎ振りが馴染まなかったのか、その後姿を消し、新しく『市民パーティー』『フォークダンスの夕』が登場した。

**ライラック文化講演会** NHK札幌中央放送局の提供で第一回から第七回（昭和四十年）まで市民会館でひらかれ、招聘した講師は作家、評論家、編集者など多彩な顔ぶれであった。

ライラックまつり初期の格調高い目玉行事であり、その断絶が惜しまれる。

（第一回）高見 順、小林秀雄、館脇 操（第二回）井上 靖、堀田善衛（第三回）手塚富雄、中村光夫、森田たま（第四回）福



姉妹都市提携10周年を記念してミュンヘン市長からメッセージが寄せられる／第24回

田恒存、井上友一郎（第五回）戸川幸夫、南条範夫（第六回）庄野潤三、吉野源三郎（第七回）水上 勉、斎藤茂太

**植樹祭** ライラックまつりのオープニングセレモニーである。

北海道銀行のご厚意で、第二回（昭和三十五年）から欠かせぬ行事として継続されている。

たんなるセレモニーでなく、逞しい成長をねがっての市内養護施設児童の招待、新設小中学校や植樹希望小中学校への苗木贈呈式、道内外主要都市への苗木寄贈、高知市『おうちまつり』や海外姉妹都市との交流の場など、時宜に応じて企画されている。

関連して行われるさわやかなミニコンサートや『ライラックのうた』歌唱指導も好評であり、とくに市民への苗木プレゼントは三百円におよぶ列ができるほどの人気ぶりである。

植樹場所は植樹百本を超えた大通公園のほか、創成川河畔、市庁舎前庭、札幌市資料館前庭、市民会館前庭、地下鉄開通を祝しての地下鉄駅花壇など多様である。

**ファッショショとバレエと民謡踊り** 初回から第十七回（昭和五十年）頃まで、ライラックまつり催しものの中核をなしたのは、各種学校（洋裁・和裁・編物）生徒の自作自演によるファッショショと市内洋舞踊研究団体出演のバレエとモダンダンス、婦人団体会員による民謡踊りであり、まつりに欠かせない音楽隊、吹奏楽団、交響楽団の演奏とともに、まつりの雰囲気をはなやかに盛り上げる主役であった。

『野外ページェント』『ライラックショー』『ファッショショ』『ファッショショと洋舞踊のつどい』『初夏におけるライテングとファッショショとバレエとモダンダンス』などと銘うって、毎回、大通公園の特設ステージや沈床花壇、市民会館などで市民を魅了して喝采を浴びたものであり、とくに子供バレエは家族連れの声援と拍手で賑わった。

だが、すべての催しものが屋外へ移った第十二回（昭和四十五年）頃から、これらプログラムに対する観客の興味と欲求が徐々に様変わりをはじめ、五十年前後には、とくに時代感覚の鋭敏な若者たちから企画の革新をもとめられた。

まず、ファッショショが第十四回限りで姿を消し、間もな

く根強い人気のあった子供パレーと民謡踊りも去り、かわってフ  
ォーク中心の『とみたいちろうと共に』（第十七回）『ライラッ  
ク市民音楽祭』や迫力あるサウンド『オーディオコンサート』（第  
十八回）などが登場した。ことに第二十一回からはじめられた『さ  
っぽろ音楽祭』は、近い将来、権威ある新人登竜門となることが  
期待される。

**野外彫塑展・写生会・青空文庫・野立て** 五月の太陽の下、ラ  
イラックの花匂う大通公園で無心に絵筆を走らせる写生会の家族  
連れ、やってきた青空文庫に集い静かに頁をめくる市民、散策の  
人もベンチに憩う人も心豊かに鑑賞するライラック市民ギャラリ  
ー、色あざやかな沈床花壇に散在する白い造型・野外彫塑展。い  
ずれもライラックまつりにふさわしい催しもので、まつり初期か  
ら息長く回を重ね、根強いファンをもっている。

茶道各流派の野だてもビルの谷間に雅趣あふれ、詩の都札幌な



第18回=昭和51年

らではの名物になっていく。

**異色で好評だった催しもの** 子どもたちに人気のあるのは人形  
劇、ジャンボ紙芝居、孔面教室、チビツ子芸術広場である。

だが、老若男女を問わぬヒットは、なんと言っても第十三回（昭  
和四十六年）からつづいている漫画人協会の漫画展（初回は『漫  
画野郎展』）と似顔絵のプレゼントであろう。似顔絵コーナーの  
会員たちは思つくいとももないほどの大車輪で、毎回六、七百枚  
の似顔絵を市民にプレゼントしている。かつて会員だった芥川賞  
作家の高橋揆一郎さんも、このコーナーで健筆をふるわれた。

大盛況といえば、花好きな市民がどっと押し寄せ「バーゲンセ  
ール並みの混雑ぶり」（北海道タイムス 昭58・5・28）を呈する  
のがライラックの苗木（植樹祭）、花の種子（錦鯉の放流）のプレ  
ゼントで、三千本の苗木、三千袋の種子は四十分足らずで消えて  
しまう。

ユーマラスなのは第二十一回（昭和五十四年）から恒例になっ  
た北海道学生落語連盟の青空寄席・落語の公演と私立大学応援団  
リーダー公開であろう。

第二回（昭和三十五年）に話題をさらった『文化人の学芸会』  
を記憶されておられるだろうか。あれから二十年を経た今日、協  
賛行事ではあるが、名士による文人劇『再御見得忠臣蔵』（第二  
十二回 昭和五十五年）『恒例文人忠臣蔵』（第二十三回）が、  
市民会館で市民に披露された。

第二十回目を迎えた昭和五十三年、さっぽろライラックまつり  
のあり方について『企画がケバケバしくなって精神が失われては  
何にもならない。ライラックの花が咲いたことで、一人ひとり  
心を豊かにすることで十分』（ミレ 昭53）という声がかかれた。  
反面、『いつあったのかも知らないうちに終わった。参加できる  
方法を考えて』『市民のまつりにもう少し力を入れては』（ミレ  
昭53）という要望も強い。

この両論は、常に古くて新しいライラックまつりの課題であろ  
う。いずれにしても、初心を忘れず、明るく楽しく、文化の香  
りを大事にした市民参加のまつりに努め、一層の発展を期したい。



## ライラック祭



更科源蔵〈詩人〉

去年ライラック祭が二十五回にもなるときいて、もうそんなになったかと感慨を深くしたことだった。

私たちの間でライラック祭をしようと言いだしたのは、今はフリーライターになっている当時NHKにいた斉藤道一君と、敗戦に荒れた札幌神社の花見というものを見に行った帰り、あまりにむごたらしく乱れた花見客が、一町おきくらいに男女を問わず酔いつぶれて道傍に寝込んでいる姿が、あまりにもあさましかったので、「何か札幌らしい花の咲く季節を喜ぶ行事を考えようでないか」ということから、「お役所で企画したのでも、学者がすすめたのでもないのに、今ではその花が咲いてない家がないほど市民に愛されて咲きほこっているライラックの花の咲くとき、大通りに集ってビールの乾盃するのはどうだ」「そいつはいいやろうじゃないか」と早速準備にかかったら、お役所の方では企画者があまり評判のよくないと思っただけでかかった。「大通りはそんな一部の者の遊びに使うところではない」というのだが、その頃大通りの一部を金網で区切って、或るスポーツ団体の専用に使っていたので、コチンと来たが引きがるよりなかった。

そのうちテレビであったかラジオの対談だから、今はない渡辺茂君と国松登が、札幌の街をきれいにする話で、ライラック祭の話をしたところ、当時NHKの放送部長の熊谷幸博さんがきいて、「それはいいやりましょう、大通で大いのみましましょう、踊るのもいいじゃないですか」

といって市役所に申込みをしたら、すすいと通って、ライラック色のベレーなんかをかぶってビールのジョッキをあげ、市民会館ではNHKが中央から呼んだ、小林秀雄、高見順のお二人に、地元から北大の館脇操先生に出してもらって、文化講演会をひらいた。

話が終ってから高見順がこっそりと私に耳うちした。

「オイ、あの演壇の脇においてあるきたない花、ありやなんだい」

「あれがライラックさ」

「そうかあぶなく悪口を言うところだったが、言わなくてよかったナ」

といってにやりとした。私は翌日彼をライラックの満開の植物園に案内して、外光の中に開く香り

ゆたかなライラックの花房を見せると、彼ははじめて「うん、これはいい」とうなってはじめて納得した。

その晩館脇先生の話の中で私は、私たちが田舎でドスナラなどという名で呼んでいるハシドイの花が、日本にある唯一の野生のライラックで、もつとも香りが強烈であり、それを誰が植えたか、赤煉瓦の道庁前の並木になっているということを教えられた。

## ライラックまつりに想う



国松 登〈画家・札幌文化団体協議会会長〉

第一回のライラックまつりが行われたのは昭和三十四年というから今年は二十五周年ということになる。

戦後いろいろな形で生まれてきた「まつり」の類も多いが、初めは素朴な発想や感動から生れている。しかし四半世紀も過ぎると随分、形も変わるものと、感慨深いものがある。

この種の「まつり」というものが受け継がれてゆく間には、さまざまな意味が肉付けされたり、行事の在り方にも微妙な変化がみられる。

昭和三十四年といえは敗戦の激動、混乱期もそろそろ落ち着きを見せはじめた頃である。その頃は月に一回集まって私たちの飲む会があった。メンバーは文学、美術、音楽、演劇、舞踊家から大学教授、医師、ジャーナリストなど幅広い仲間で、日常の仕事を忘れて一夜痛飲、歓談の会で現在もつづいている。

たまたまその会合で更科源蔵さんが「もう今さら公園の花見でもあるまいし、札幌にはライラックの木も多い。ライラックを礼賛して芸術家のおまつりでもやろうじゃないか」こんな要旨の口火が切られて、早速第一回ライラックまつりの実行委員がつくられ、NHK、市民会館や前の広場を中心に催し物を展した。

その時に募集した「ライラックの歌」の発表会を皮切りに今も愛唱されているし、故館脇 操先生の「ライラックについて」の講演会や即興の文人演劇などの披露もあった。

私たち美術家はその二、三年前から藻岩山麓で美術家まつりを行っていたが、この年はライラックまつりに合流した。

その折の假装行列で美術家は馬車一台を仕立て、「札幌に美術館を建設しよう」のスローガンを馬車の両側に市街を廻った。これが美術館建設の旗揚げでもあり、想えば道立近代美術館も二十年後に実を結んだことになる。

ライラックの季節がくると市内のそこ、かしこの堺垣から薄紫から青紫のデリケートな色や白い花が、甘い匂いを漂わせている。

この行事の一つとして道銀から市民に贈られるライラックの苗木も大通り公園や市内各所に美しく根づいていることだろう。

〈ライラックまつり〉この花にふさわしい、奥床しいまつりとして永くつづいて欲しいと願って止まない。

## ライラック祭への思い出



九島勝太郎〈北海道文化団体協議会会長〉

昭和三十年ころ、私は更科源藏(詩人)、国松登(画家)、入江好之(詩人)の三氏が主体となって誕生した、北海道文化団体協議会の会長にまつり上げられました。そこで、はっきりした目的は無かったが、在札の文化活動家達を一堂に会して何か楽しい企画で親睦を計ろうと、そんなあわい願いをこめて出発しましたが、時節が春だったせいか直ぐ円山の桜を連想したものでした。が、同時に塵と雑音と言う夾雑物も考えのなかにあって、何か良いものはないか、と思索したすえ、当時、市内の住宅の庭や街に咲いているライラックの清楚な姿が心にとまり、この花を中心に芸心、酔心を脹らませることに一決しました。折りも良く市の観光課でもライラック祭りの企画がもちあがっていました。そこで、道文団協では東京の二科会祭りの向うを張って、エゾツ子の心意気を見せようとライラック祭パレードを企て、行列は市民会館から中島公園の間を往復することでした。

その参加者は音に聞えた「こっくり会」の面々で、発起人の更科、国松、入江の三氏をはじめ高木黄史(日本画)、河野広道(考古学)、渡辺茂(郷土史)、金田一昌三(道立図書館長)、大谷久子(画家)、九島勝太郎(音楽)等のほかに細田恵子(演劇)、篠原邦幸(バレエ)、相良義重(短歌)、本田明二(彫刻)、竹岡和田男(市民劇場)等々の連中がアイヌの衣装で飾りたてて、パレードに、寸劇に各々の演技を披露して市民の目を驚かせたものでした。

現在では、それも遠い思いのひとつとして心に残っているに過ぎず、いままでに当時参加した方々のうちの幾人かが故人となりましたが、ライラックの花はその後、市の植樹や厚い保護のもとで大通りを中心に、街の処々で塵をさけるようにその美しさをほこり、我々の眼を、そして心を慰めてくれています。

## さっぽろライラックまつり



### 寺島伸治《札幌市経済局長》

さっぽろライラックまつりは、昭和三十四年に市内在住の文化人が中心となり、ライラックをシンボルとした文化の香り高いまつりを実施しようということから始まりました。

初回は、東京から作家を招いての講演会、音楽会、演劇、仮装パレードなどを実施し文化的色彩の強いまつりとしてはじまりました。

翌年の昭和三十五年には、札幌市の人口五十万人突破を記念して、市民が愛する花・木・鳥の人氣投票が行われました。その結果、木にはライラックが一位に選ばれたことから、このまつりも市民に深く定着することになりました。

その後、このまつりも推進団体が文化団体協議会から札幌市と札幌観光協会にバトンタッチされ、今日に至っております。

現在、大通公園には白、紫あわせて約三百本のライラックが植えられており、また、このまつりを通じて市民に無料配布された苗木は二万六千本を数えております。

二十三回目には、以前からライラックの詩として親しまれてきた「家ごとに リラの花咲き 札幌の人は楽しく生きてあるらし」と吉井勇氏によって詠われたこの歌の碑が、北海道銀行さんのご厚意により建てられました。

この碑は、まつりのシンボルとして永く市民に親しまれていくことでしよう。私共、まつりの関係者として、このまつりのもつ文化の香りを大切に市民・観光客により広く参加してもらえ楽しいものを企画し、健全で快適な憩いの場を提供するという意味で役割を果していきたいと思っております。

このライラック二十五周年記念誌が、これからのライラックまつりの発展の助力となれば幸であります。

記録

さっぽろライラックまつり二十五年のあゆみ





昭和三十四年／一九五九

◆開催期日と会場

昭和三十四年五月二十九日（前夜祭）～三十一日（三日間）／大通西六丁目広場、市民会館、中島スポーツセンター

◆主催

札幌市、札幌教育委員会、札幌観光協会、札幌レクリエーション協会、全北海道文化団体連絡協議会、NHK

◆後援

日本国有鉄道、日本交通公社、北海道新聞社、北海道タイムス社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

◆行事の内容

- 1 前夜祭、文化講演会（5月29日／市民会館）
- 発起人放談会Ⅱ 国松 登、更科源蔵、栗谷川健一、渡辺 茂
- ライラックの歌詞朗読
- 文化講演会Ⅱ 小林秀雄、高見 順、館脇 操
- 2 植樹祭（5月30日／大通西六丁目）植樹、表彰式、苗木の贈呈
- 3 野外演奏会（5月30日／大通西六丁目特設舞台）
- 4 ライラックの歌発表会（5月30日／市民会館）
- 5 NHK歌の祭典（5月30日／市民会館）
- 6 『ライラックの歌』歌唱指導（5月31日／大通西六丁目特設舞台）
- 7 野外演奏会（5月31日／大通西六丁目特設舞台）
- 8 仮装パレードⅡ 大通西六丁目～中島スポーツセンター（5月31日）
- 9 仮装舞踏会（5月31日／中島スポーツセンター）

◆概況

札幌市ではことしから春の恒例行事としてライラック祭りを行う。二十九日が前夜祭。午後六時半から市民会館でライラック放談会（更科源蔵、栗谷川健一氏ら出席）、ライラックの歌詞朗読、小林秀雄、高見 順、館脇 操氏ら七氏を講師にしての文化講演会。

三十日は午後一時半から大通西六丁目で原田市長が出席してライラック植樹祭。夜七時から市民会館で藤山一郎、石井好子、柳沢真一、ピシヨップ節子さんらが出演してにぎやかに歌の祭典。

三十一日は大通西六丁目特設舞台で、午前十一時からライラックの歌指導、正午から市内バレエ十二団体出演で野外ページェント。午後四時から市内文化団体が参加して大通西八から中島スポーツセンターまで仮



昭和三十五年／一九六〇

◆開催期日と会場

昭和三十五年五月二十八日～三十日（三日間）／大通西六、七、八丁目・市民会館

◆行事の内容

- 1 ライラックショー
- ライラックが札幌の木に選定される。各種学校生徒によるファッションショーと市内各団体の出演によりコーラス、バンド演奏などを行う。
- 2 学芸会
- 道美術協会、札幌演劇協会、日舞研究グループなどによりコント、詩の朗読、パレエが行われた。
- 3 ライラック植樹祭
- 大通西七、八丁目北側に各一〇本ずつ記念植樹。
- 4 仮装パレード
- 文化団体に各種学校生徒が加わり、にぎやかに催された。
- 5 文化講演会
- 講師Ⅱ 井上 靖、堀田善衛

◆概況

夜半から強まりだした春の嵐で、二十八日から始まった第二回さっぽろライラック祭りの数々の催しはすっかり予定が狂ってしまった。

午前十一時から大通西七に二十本のライラックを植える行事は中止、市役所の応接室で苗木を寄贈した道銀と緑園会に市長から感謝状を贈っただけだった。午後一時半から大通西六で予定されていた華やかな野外ページェントもお流れとなり、プログラムのうちの婦人民謡おどりだけが二十九日に市民会館で催される。

これでライラック祭り初日の催しは、午後六時から市民会館で開かれる『今週の明星ショウ』だけ。雨にたたられたライラック祭りは二十九日のお天気に望みをかけるだけになった。（北海道タイムスⅡ昭35・5・29）

さっぽろライラック祭り二日目の二十九日、大通り広場を中心にいろいろな催しが開かれた。

○…午後一時から大通西七広場で開かれた、市民レクリエーションの集

装市中パレード、その後五時から仮装舞踏会と三日間のはなやかな日程がくりひろげられた。（毎日新聞Ⅱ昭34）

い”に続いて、午後二時過ぎから市民会館で文化団体協議会の“ライラック・ショー”が開かれた。道美術家協会、札幌演劇協会の面々に、市内のバレエ、日舞研究グループが応援出演、メロデーが流れるステージいっぱい、コント、詩の朗読、バレエなどをつぎつぎ披露、『文化人の学芸会』を見ようと集まった市民を喜ばせた。

○：午後五時からは文化団体、洋裁学校生徒らの仮装パレードが市民会館―大通西七広場の間を練り歩いた。更科源藏さんのアイヌ、国松登さんほかの各国風俗による仙人などが洋裁学校生のフアッションモデルのあとに続き、市民のかっさいをあびていた。(北海道新聞||昭35・5・30)

## 第三回

昭和三十六年／一九六一

### ◆開催期日

昭和三十六年五月二十七、二十八日(二日間)

### ◆催しもの

○ライラック植樹 ○札幌市から釧路、函館両市にライラックの苗木を寄贈 ○第一回写生会 ○野外ページェント ○フオークダンスパーティー ○文化講演会

### ◆概況

二十七日は、まず午前十一時から大通西六広場特設舞台前で植樹祭。道銀、エルム・ライオンズクラブから市へライラックの苗木二十四本のプレゼント。これに対し市から感謝状のお返し。また札幌市から釧路、函館両市へ贈る苗木が北日本航空のスチュワードに託された。

このあとうすむらさきのライラック帽をかぶった原田札幌市長らが大通西七、十広場にライラックの苗木を植えた。終わってお昼すぎからは特設舞台で自衛隊のプラスチックバンド演奏、婦人団体の民謡踊り、子供のバレエなど華やかな野外ページェント。また市民会館では舞踊、詩劇などのライラック・ショー、同会館での詩画展が続いた。

そして夕方五時から大通西一テレビ塔フロアで市民パーティー、市民会館では同六時半から手塚富雄(東大教授)中村光夫(評論家)森田たま(作家)三氏の講演会がある。(北海道新聞||昭36・5・27)

行楽びよりにめぐまれた二十八日、札幌市内は前日に続いて華やかなライラック祭りの行事でにぎわった。まず大通西六の特設舞台では歌と踊りの野外ページェント。会場には朝から家族連れがためかけて開幕の正午には観客がいっぱい。かわいい幼稚園の幼児たちの踊りにはじまって、小学生の鼓笛隊、特別出演の中原美紗緒さんの歌など盛りだくさん

のショーがくり広げられた。

一方、市民写生会も大通公園一帯で開かれた。色とりどりに咲きほころぶ花壇の前にクレヨンでいろどる子、公園の名物白クジャクバトを水彩で描くおかあさん、油絵でどっしりかまえた本格派と、絵の好きな市民たちは三々五々、静かにライラック祭りを楽しんでいった。

夜にはいつて市民会館では若い人たちにおける歌の夕べ“花の星座”が開幕。石井好子、スリーグレイセスなど、テレビでおなじみの歌手たちがライラック祭りを祝って、おとくいの歌を披露。このほか大通会場で午後六時からフオークダンスの夕べも開かれた。(北海道新聞||昭36・5・29)

## 第四回

昭和三十七年／一九六二

### ◆開催期日と会場

昭和三十七年五月二十五日～二十七日(三日間) 大通公園、市民会館

### ◆催しもの

【二十五日】▽フアッション・ショー||午後一時から市民会館。合わせて詩劇と舞踊の発表会。

▽文化講演会||午後六時半から市民会館。福田恒存の『文明と道徳』、井上友一郎の『なぜ小説を書くか』。

【二十六日】▽ライラック記念植樹||正午から大通西六丁目で三十本の植樹。

▽野外演奏会||午後一時から自衛隊第十一師団の吹奏楽演奏会、バレエ発表会、ハワイアンバンド演奏会。

▽NHK『花の星座』公開録音||午後六時十分から市民会館。石井好子、ベギー葉山など出演。

【二十七日】▽野外ページェント||午後一時四十五分から大通西六丁目。石井好子、札幌少年合唱団が出演、NHKテレビで全道中継放送。

▽野外パーティー||午後二時から大通西六丁目。市内十二舞踊団体の子供バレエ大会。引き続きフオークダンス市民パーティー。

### ◆概況

初日のプログラムはライラックショーと文化講演会。午後一時から札幌市民会館ホールで行われたライラックショーでは全日本芸術舞踊協会道プロックのバレリーナたち約十人の“白鳥の湖”や“ハンガリアダンス”などのバレエと市内洋裁学校四十一校の生徒たちのフアッションショーが行われて、千八百人の洋裁生や一般観客の拍手で雰囲気盛りあ

げた。

夜は午後六時から同ホールで作家井上友一郎氏と福田恒存氏の文化講演会が開催される。(読売新聞 昭37・5・25)

第四回さっぽろライラック祭りの第二日、二十六日はさわやかな五月晴れ——。正午から大通公園の六丁目と十一、十二丁目では市の板垣第一助役ら関係者三十人が集まって記念植樹を行い、白や紫の花をつけた札幌の市花、ライラック三十本を植えた。

このあと午後一時からは大通西六丁目野外ページェント。チューリップやパンジーが乱れ咲く沈床花壇を舞台に、自衛隊吹奏楽隊が演奏会を開き、続いて婦人団体連絡協議会の会員らによる『北海おどり』『オリンピックおんど』などの舞踊がつぎつぎとくりひろげられ、初夏のムードを花の公園いっぱい流していた。(北海道新聞 昭37・5・27)

『ライラック祭り』は、二十七日が最終日。午後五時からフィナーレをかざる市民フォークダンス・パーティーが、大通西六の広場で開かれた。散策途中のアベックやBG、学生がザツと三百人も詰めかけ、軽快なメロデーにあわせてステップをふんでいたが、ホオを紅潮させ、汗を流して一生懸命。大通公園には午後八時すぎまで『若さとしあわせ』が満ちあふれていた。

これにさきだつてライラック祭りは、昼は大通公園を中心に歌や踊りの野外ページェントがくりひろげられ、近郊からの人たちや市民がドツと集まっていた。(北海道新聞 昭37・5・28)



昭和三十八年／一九六三

◆開催期日と会場

昭和三十八年五月二十六日～二十八日(三日間)／大通公園、市民会館

◆催しもの

- 1 野外形塑展(5月25日～6月2日)  
白色セメントによる彫塑展。市内小中学校四七校参加。
- 2 植樹祭(5月26日)  
ライラックの苗木二〇本植樹。他にアメリカスギ三〇〇本植樹。
- 3 野外ページェント(5月26日)  
NHK歌手出演。舞踊団体の子供バレエ。
- 4 札幌交響楽団野外演奏(5月26日)
- 5 ファッションショー(5月27日)

市内各種学校の協力による。

6 文化講演会(5月27日／市民会館)

『物を描くたのしき』戸川幸夫、『事実と創作』南条範夫。

7 NHK『花の星座』(5月28日／市民会館)

公開録画、全国中継。三鷹 淳、飯田久彦、花村菊江、西田佐知子、森山加代子、ローヤル・ナイツ、スリーグレイセス、東京シンキングトリオ出演。

◆概況

札幌ライラックまつり第一日の二十六日午後、札幌交響楽団の同まつり協賛演奏会が大通西五広場で開かれた。

荒谷正雄さんの指揮でチャイコフスキー作曲の『白鳥の湖』など七曲を二時間にわたって演奏、さわやかな初夏の風に乗る美しい旋律に、音楽好きの市民たちは同広場のしばふやベンチに腰をおろし、静かに聞き入っていた。(北海道新聞 昭38・5・27)

二十三日から始まった札幌ライラック祭りは二十七日、ファッションショーや文化講演会でにぎわった。ファッションショーは午後一時から市民会館で幕をあげた。市内の洋、和裁、編物学校二十二校の生徒たちが、みずからモデルになって新しい初夏のモードを披露したが、千数百人のおとめたちで埋まった会場には、明るく柔らかなムードがいつぱいで、ライラック祭りにふさわしい催し。

このあと午後六時から同会場で戸川幸夫、南条範夫両氏の文化講演会が開かれ、二十八日夜は同じ市民会館でNHK『花の星座』の公開録画が行われる。(北海道新聞 昭38・5・27)

第六回

昭和三十九年／一九六四

◆開催期日と会場

昭和三十九年五月二十九日～三十一日(三日間)／大通公園、市民会館

◆催しもの

- ▽全国の主要都市(八都市)にライラックの苗木寄贈 東京、仙台、名古屋、大阪、京都、松山、広島、熊本の各都市に寄贈。
- ▽第二回絵をかく運動 みんなで絵をかき、きれいなまちにしよう、札幌市絵をかく運動の会主催でひらき、小中学生や家族連れなど千人が参加。
- ▽野外ページェント 札幌交響楽団、婦人団体協議会、バレエ研究所生



徒が参加し、吹奏楽、舞踊、民謡踊りなどがぎやかに催された。

▽第二回野外彫塑展 市内小中学校が出席、チューリップやパンジーなどの花に囲まれて純白の造型美を披露。

▽フアッシュンショー 各種学校生徒により、かろやかなメロデーにのり作品五〇点を披露。

▽文化講演会 講師は庄野潤三(作家)、吉野源三郎(岩波書店編集長)。

●概 況

ライラックまつりもこととして六回目。いまでは冬の「雪まつり」ともに全国的に知られる札幌の代表的な行事。それだけにプログラムも多彩な催して埋まっているが、初日の二十九日は全日空のスチュワーデスが「花の使者」として、原田市長から全国の主要都市に贈られるライラックの苗木を持って昼前に旅立つ。贈られる都市は東京、仙台、名古屋、大阪、京都、松山、広島、熊本の八カ所。

また、市民会館大ホールでは市内二十五の洋裁学校の生徒によるフアッシュンショー(午後一時)が行われる。続いてNHKがライラックまつりにちなんで文化講演会を開く。講師は作家の庄野潤三さんと岩波書店編集長の吉野源三郎さんの二人。

二日目の三十日は午前中から大通公園を舞台にライラック植樹祭(午前十一時・西四丁目広場)、小学校への苗木贈呈式(午前十一時半・西四丁目広場)とはなやかな屋外ページェント(午後四時・西六丁目広場)が繰りひろげられる。ページェントには札幌吹奏楽団、婦人団体協議会の会員と市内のバレエ研究所の研究生たちも参加、吹奏楽演奏会や洋舞踊、民謡おどりが披露される。

最終日の三十一日は子供バレエ(正午・六丁目広場)のほか、札幌の野外演奏会などが開かれる。(北海道新聞 昭39・5・29)

○：フアッシュンショーは午後一時から市民会館で開幕。市内の洋裁や編物学校二十五校の生徒たちが自分たちの作品約五十点を披露したが、モデルもみんな生徒。かろやかなメロデーに合わせて、しずしずと歩つしりと詰めかけ、「自作自演」のショーを熱心に見詰めていた。

またこの日は午後六時から同会館でNHKの文化講演会も開かれ、作家の庄野潤三さんが『わが生活』、岩波書店編集長の吉野源三郎さんが『現代に生きるための読書』と題して講演した。

○：野外彫塑展は昨年に続いて第二回目。市内小中学校、児童会館の子供たちがこしらえた白色セメントの彫塑を並べたもので、会場は大通六丁目。この日は昼ごろからぞくぞくと撤入、夕刻までに「白鳥」「平和

の鳥」「ペンギン鳥」「オリンピック」などの力作が勢ぞろいした。同展は六月四日までだが、ライラックがかおり、チューリップが咲きそろう沈床花壇に、白い造型美を巧みに融和させて、公園にこころ市民の眼を楽しませている。(北海道新聞 昭39・5・30)

ライラック祭り二日目の三十日、札幌市大通西四でライラックの植樹祭が行われた。

この植樹祭はこれが六回目。第一回から毎年、市にライラックの成木を寄贈している道銀の島本融頭取と原田札幌市長らが出席。原田市長から島本頭取に感謝状が贈られたあと、道銀が大通西四の南北に二十九日、仮植えた高さ三メートル、うすむらさきの花をつけた成木十六株に原田市長らがスコップで土をかけた。

市はこの植樹祭の席上、ライラックの苗木二百十本を市内の小学校の希望校三十二校に贈り、学校長代表の丹羽英雄雄の沢小学校校長が「さっそく学校周囲を緑で飾ります」と喜びのこたばを述べた。(北海道新聞 昭39・5・30)

ようやく初夏の装いをつけはじめた札幌市から三十日正午、ライラックの若木が全日空機で名古屋に空輸されてきた。

「札幌の木」として市民に広く親しまれているライラックは、今がさかりだが、二十九日からはじまった札幌ライラックまつりを記念し、原田市長から「花を通じて、お互いのきずなを強めましょう」と杉戸名古屋市長に贈られた。(北海道新聞 昭39・5・31)

ライラックまつりの野外ページェントが三十日午後四時から大通西六広場で開かれた。

まずレコードコンサートで幕あけ。公園の木々の間に甘いメロデーが流れたあと、札幌吹奏楽団の演奏や市婦協の民謡踊り、市内の舞踊研究所のバレエなどがつきつぎと行われ、最後は婦協の会員たちが楽しそうに「オリンピック音頭」を踊った。

たそがれの忍びよった同広場には、土曜日とあつて、大勢の市民が集まり、歌や踊りに楽しいひとときを過ごした。(北海道新聞 昭39・5・31)

昭和四十年／一九六五

●開催期日と会場

昭和四十年五月二十八日～三十日(三日間)／大通公園、市民会館

●催しもの

▽全国の主要都市(七都市)にライラックの苗木寄贈。

▽ライラック植樹祭―創成川河畔の南三、南四間と、大通西三、西五に植樹。

▽第三回野外彫塑展―市内小中学校に児童会館も加わり、三〇校三五点の作品を展示。

▽第三回絵をかく運動。

▽『市民の歌』の歌唱指導と踊りを披露。

▽ファッシュショー。

▽文化講演会―講師は水上 勉(作家)、斎藤茂文(東大教授)。

◆概況

まつりのトップを飾る野外彫塑展の出品作も二十七日夕方まで全部出そろった。

市内の小中学生がライラックまつりに協賛、白セメント像を出品するようになつてことが三回目。今回は小学校十九校、中学校十三校、中島児童会館が参加。出品数も三十五点で、昨年の一・五倍近くにふえた。

どの学校も制作に力を入れたとみえ、サケをだいた「ひぐま」(札幌小)、月や宇宙人を胴体に描いてある「ロケット」(東園小)、ひつじと歩く「羊ヶ丘の少女」(月寒小)、動物をおもしろく組み合わせた「オットセイと小鳥」(新琴似中)など、いずれも傑作ぞろい。とおりがかりの市民もさつそくカメラを向けていた。会期は二十八日から六月六日まで。(北海道新聞||昭40・5・28)

初日は開幕を飾る植樹祭が大通西五で行われ、市民会館ではファッシュショー、文化講演会などの催しもあった。

植樹祭では市の板垣第一助役が『美しいライラックを市民のシンボルとして大切に育てましょう』とあいさつ。和光小など新設の小中学校六校と札幌ろう学校、自衛隊第十一師団などにライラックの苗木三百五十本をプレゼントした。また東京、名古屋など全国七都市に贈るライラックが全日空のスチュワーデスに託された。

このあと北海道銀行、札幌ライラックライオンズクラブから市に贈られたライラックの成木と幼木が大通西三、西五と創成川河畔の南三―南四間に植えられた。(北海道新聞||昭40・5・28)

ライラックまつり二日目の二十九日夕方、大通西六丁目で野外ページェントが開かれた。

むらさきのライラックが咲く大通で、市民に歌や踊りを心ゆくまで楽しんでもらおうというのが、この野外ページェントの趣向。北海道文化団体協議会、道教委など共催の第二回北海道春の芸術祭参加プロともなっている。

この日は、札幌吹奏楽団がまず行進曲、「鉄腕アトム」などを演奏。ついで大谷短大の池上恵三助教授が、昭和初年まで広く愛唱された「我等が愛する北海道」と昨年制定された「市民の歌」の歌い方を指導した。また札幌婦人団体連絡協議会の会員たちが、これら二曲に振りつけられた民謡踊りを初披露した。

このあと市内の各バレエ研究所のバレリーナーたちが、沈床花壇の花や白セメント像を縫って、スパニッシュグダンス「小さな花」などを踊りまくり、花壇の周囲に集まった市民から盛んな拍手を受けた。(北海道新聞||昭40・5・30)

さつき晴れの三十日、大通公園ではライラックまつりの最終日を飾って絵を描く運動の会や子供バレエなどの行事がにぎやかに繰りひろげられた。

○：『だれでも、いつでも、どこでも楽しく絵を――』と絵を描く運動の会が開かれるようになってことは三回目。あいにく市内各校の運動会とかち合ったため参加者はちよつと少なかったが、それでも家族づれを中心に七百人を越える盛況。

道展、全道展など各美術グループの画家たち五十人が手を取って指導、参加者たちは明るい五月の日ざしの下、緑のしばふに腰をおろして、テレビ塔、色とりどりの花壇などを画材に水彩絵の具、クレヨンを走らせていた。

また、指導員たちは、会場に大きな紙を持ち込んで、大通公園の風景や世相マンガをあざやかな壁画にかきあげるなどの手並みを見せ、散策する市民たちも思わず足を止め、中には画用紙や絵の具を借りて、「日曜画家」に早変わりする人もいた。

このほかライラックまつりの行事として、日本民謡舞踊、野外子供バレエなどが大通公園を中心に開かれた。(北海道新聞||昭40・5・31)

第八回

昭和四十一年／一九六六

◆開催期日と会場

昭和四十一年五月二十七日―二十九日(三日間)／大通公園、市民会館

◆催しもの概要

めばしいものは初日のライラック植樹祭(午後零時半、大通西一創成川河畔)、二十九日は第四回札幌市絵を描く運動の会(午前九時、大通西五)、野外ページェント(午後一時、大通西六)など。

このほか市民会館では二十七日NHK札幌放送合唱団演奏会「リラの香にのせて」(午後六時)二十八日にファッションショーと洋舞踊のつどい(午後三時)、二十九日にNHKのテレビ「それは私です」、ラジオ「ミュージックパレード」の公開録画・録音(午後五時半)と盛りだくさん。

さらに期間中は毎日野外ステレオコンサート(午後五時半、大通西六)と野外彫塑展(大通西六)が開かれる。(北海道新聞昭41・5・26)

#### 概況

彫塑展に出品する小学校二十三校と中学校十校の作品搬入は二十六日朝から始まり、夕方までに西六の花壇に出そろった。

児童、生徒たちが白セメントをこねてつくったライオン、魚など思い思いの像のできばえはなかなか見事なもの。(北海道新聞昭41・5・20)

好天に恵まれた初日の二十七日は、まず開幕を飾るライラック植樹祭が午後零時半から大通西一の創成川河畔で行われた。昨年までに大通公園内に約百本のライラックを植え終わつたので、ことしから創成川河畔にライラック並木を造成することになったもので、板垣市第一助役が「札幌をライラックで埋めたい」とあいさつ。北海道銀行、駅前通り商店街大売り出し実行委、札幌観光協会などがプレゼントしたライラックの成木二十五本を、札幌滞在中のポートランド市ルイス・アンド・クラーク大学の学生たちも加わって植樹した。

またこの日から始まつた大通西六の野外彫塑展会場では、朝七時三十分からNHKテレビ「スタジオ102」の中継放送が行われ、大通公園内の花々の美しさを全国に紹介した。ついで午後五時半から同会場で野外ステレオコンサート、午後六時から市民会館でNHK札幌放送合唱団演奏会「リラの香にのせて」がある。

札幌観光協会ではライラックまつりにちなんで、三十日に大阪府にライラックとエゾヤマザクラの苗木三十本を日航を通じて贈る。(北海道新聞昭41・5・27)

夕焼けが緑の木々にはえて美しい大通公園——二十七日夕、ライラックまつりに協賛する野外ステレオコンサートが開かれた。

この日は日中二八・五度(札幌管区気象台調べ)と二十日についてことし二番目の暑さを記録しただけに夕方の大通公園は涼をいこう人出でかなりののにぎわい。ライラックまつり主会場大通西六の野外彫塑展会場わきで午後五時半から開かれた野外ステレオコンサートも五、六百人の聴衆が集まり、「花のささやき」「マルセリーノの歌」などに耳を傾け、ラッキー抽選会を楽しんだ。なおコンサートは二十九日まで同会場で毎

夕開かれる。(北海道新聞昭41・5・28)

ライラックまつり第二日の二十八日は恒例の「ファッションショーと洋舞踊のつどい」が市民会館で開かれた。

ファッションショーは市内の洋裁、和裁、編物各学校二十五校から生徒二人ずつが出演。舞台に置いたはち植えのライラックの木のまわりを軽やかなメロデーに合わせて歩きながら自作の衣服を披露、会場から盛んな拍手を受けた。

洋舞踊のつどいは市内十の洋舞踊グループが入れ替わり立ち替わりステージに登場。それぞれとくいの「コッペリア」「ファウスト」「バレエ・ジゼル」などに、あざやかなバレエを繰り広げた。(北海道新聞昭41・5・29)

三日目の二十九日、大通公園では午前九時から第四回札幌市絵を描く運動が行われた。会場の五丁目広場には家族連れのアマチュア画家約千人が思い思いにキャンバス、画用紙をしばふに広げ、前回ははるかに上回る盛況。

百号の大キャンバスにいどむ仲よし小学生五人、子供が描くのを見ているうちに、「わたしも」と絵筆を握るママ、そのそばで魔法ビンの紅茶をサービスするパパ——ほほえましい風景がいっぱい。専門画家三十人も指導に飛びまわっていた。

また、六丁目広場では午後一時から子供たちの踊りを中心にした野外ページェント。『母と子』『白鳥の親子』などの彫塑の置かれた中をぬってバレエやモダンダンスが乱舞、市民はまわりのしばふに腰をおろし、声を合わせて歌い、手をたたいて楽しんでた。(北海道新聞昭41・5・30)

## 第九回

昭和四十二年／一九六七

#### 開催期日と会場

昭和四十二年五月二十六日～二十八日(三日間)／大通西五、六丁目

#### 市民会館

#### 概況

会期中晴天に恵まれ、ライラックの花が咲き香る大通や市民会館で諸行事を楽しんだ市民や観光客は延十五万人(推定)を数えた。

#### 催しものの概要

1 ライラックまつり記念植樹祭(5月27日／大通西四丁目)

札幌市第一助役をはじめライラックの苗木を寄贈した北海道銀行、札幌観光協会などの各関係者が多数出席し、盛大に行われた。

2 ファッションショーと洋舞踊の集い(5月26日/市民会館)  
 ○ファッションショー 市内各種学校二五校(二五五点)が出演。

○洋舞踊 市内各洋舞踊研究所九団体が出演。

3 第五回野外彫塑展(5月26日~6月1日/大通西六丁目)

沈床花壇に市内小学校二五校、中学校七校、あわせて三三校が力作を展示し、市民や観光客の目を楽しました。

4 園芸相談所(5月26日~28日/大通西七丁目)

開催中の札幌園芸市に設け、訪れた市民に喜ばれた。利用件数は約一五〇件。

5 第五回札幌市絵を描く運動(5月28日/大通西五丁目)

6 野外ページェント(5月28日/大通西六丁目)

北海道文化団体協議会の協力により、沈床花壇を舞台として華やかに催し、つめかけた市民の拍手を浴びた。

○子供バレエ 八団体。

○民謡舞踊 札幌婦人団体協議会、すずらん友の会。

○吹奏楽演奏 札幌青年交響吹奏楽団。

7 NHK「花のパレード」(5月28日/市民会館)

出演 春日八郎、城 卓矢、伊東ゆかり、大木 賢、若葉ちどり

演奏 NHK札幌放送管弦楽団

#### 協賛行事

市民劇場「マンドリンオーケストラ演奏会」(5月26日/市民会館)

北海学園大学軽音楽演奏会(5月27日/市民会館)

#### 広報宣伝の概要

▽大型ポスター 一、〇〇〇枚▽車内吊りポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 五、〇〇〇枚▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十回

昭和四十三年/一九六八

#### 開催期日と会場

昭和四十三年六月二日~五日(四日間)/大通西五、六丁目・市民会館

#### 概況

北海道百年、札幌市創建百年の記念すべき年にあたるので、演出にはとくに趣向をこらして催した。晴天に恵まれた期間中、諸行事を楽しんだ市民や観光客は延三十万人(推定)を数えた。

#### 催しものの概要

1 ライラックまつりパレード(6月2日)

今年のはじめて行ったパレードは、午前十一時、五段雷の花火を合図に大通西六丁目をスタートした。先頭はバトンガール、ドラムの三〇人。続いて真駒内南小学校鼓笛隊一〇〇人、最後は道警本部音楽隊四五人。総員一七五人と広報車などで編成されたパレードは、花の大通公園を一周し、沿道の市民を喜ばせた。

2 第六回札幌市絵を描く運動(6月2日/大通西五丁目)

家族連れで約一、〇〇〇人の市民が参加し、初夏の色があふれる思いの風景画に腕をふるった。

3 野外ページェント(6月2日/大通西六丁目)

北海道文化団体協議会の協力を得、六丁目沈床花壇で華やかに催し、市民の人気を呼んだ。

○子供バレエ 一〇団体

○民謡舞踊 札幌婦人団体協議会、すずらん友の会

○吹奏楽演奏 札幌青年交響吹奏楽団

4 第六回野外彫塑展(6月2日~16日/大通西六丁目)

市内小学校二校、中学校九校、あわせて三〇校の作品を沈床花壇に展示し、市民の出足を誘った。

また、大通で開催中の第十七回全国菓子大博覧会を訪れた全国の観光客からも非常に好評を博したので、当初十日に搬出を予定していたが一週間展示を延長し、色あざやかな花壇の花々とともに人々の目を楽しました。

5 初夏におけるライティングとファッションとバレエとモダンダンスの

コンティニューテ(6月3日/市民会館)

前回はファッションショーと洋舞踊を分離して開催したが、今回は内容の充実をはかるため、北海道各種学校連合会札幌支部、市内各洋舞研究所の協力を得て、ファッションショーと洋舞踊と照明などをミックスした斬新な企画で催し、盛況だった。

○市内各種学校 一八校 三六六

○洋舞踊 一一団体 一五景

6 ライラックまつり記念植樹祭(6月4日/大通西一丁目)

札幌市第一助役、北海道銀行、札幌ライラックライオンズクラブ、札幌観光協会などの各関係者約八〇人が出席し、盛大に行われた。

7 NHK番組公開録画(6月5日/市民会館)

NHK番組「あなたのメロデー」『ひるの軽音楽』を岸 洋子、島 和彦、森 進一、伊藤アイコの出演、札幌放送管弦楽団の演奏で

公開録画された。

8 その他

○たそがれステレオコンサート(6月2日～5日/大通西六丁目)  
パブリックセンターの提供により催し、初夏の夕べ、若い音楽愛好者によるこぼれた。

○北海道夏まつり祈願祭(6月2日/北海道神宮境内)

開道百年の意義ある年にあたり、北海道夏まつりにさきがけ北海道、札幌市、北海道観光連盟、札幌観光協会共催で行い、本道観光産業の飛躍的な発展と道内各地で開催される夏まつりの盛況を祈願した。このあと、境内でゆかた踊りを奉納し、夏まつりシーズンのスタートを祝った。

#### ●広報宣伝の概要

▽大型ポスター 一、〇〇〇枚▽車内吊ポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 五、〇〇〇枚▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十一回

昭和四十四年/一九六九

#### ●開催期日と会場

昭和四十四年五月三十日～六月一日(三日間)/大通公園、市民会館

#### ●概況

会期前の天候不順によりライラックの開花が心配され、会期中も雨のため一部行事を中止せざるを得ないものもあった。だが、「ライラックまつり」や「ランドショー」や高知市との花の交換など新しい企画も加わり、ライラックの花が咲き香る大通や市民会館での諸行事を楽しむ市民や観光客は延三十三万人(推定)を数えた。

また、北海道の春と花を道外に紹介し、観光北海道をPRする『第一回花の北海道まつり』が、ライラックまつりと時期を同じくして開催されることになったので、今回、とくにライラックまつりの関連行事として実施し、北海道各地の郷土芸能を披露した。

#### ●催しものの概要

1 ライラック植樹祭(5月30日/大通西七丁目)

札幌市長、北海道銀行頭取、札幌ライラックライオンズクラブ会長、札幌観光協会会長ら各関係者一〇〇人が出席して行い、ライラックの苗木四〇株を植樹した。

とくに今回は、高知市において開催されている『おうちまつり』(おうち)とはせんだんの木のこと)がライラックまつりと趣旨、時を同

じくしているところから、両市の友好を深めるためメッセージと花の交換が行われ、植樹祭にいつそう色どりを添えた。

2 第七回野外彫塑展(5月30日～6月16日/大通西六丁目)

沈床花壇に市内小中学生の作品三五点を展示し好評だった。

3 ライラックまつりパレード(5月31日)

晴天に恵まれ午後一時三十分、五段雷の花火を合図に大通西六丁目スタートし、南北大通を一周した。

このパレードは、バトンガールを先頭に、真駒内南小学校鼓笛隊一〇〇人、北星学園女子中学校鼓笛隊四〇人、道警本部音楽隊三五人、陸上自衛隊第十一師団音楽隊三五人に、「花の女王」のオーブンカーや裝飾車などを加えて総勢二五〇人で編成され、沿道をうづめた市民の拍手を浴びた。

4 野外ページェント

○子供バレエ

前夜からの雨で足場が悪く、中止となった。

○民謡舞踊(5月31日/大通西六丁目)

藤菊会民謡グループ約五〇人の出演により催したが、雨のため途中で中止となった。

○吹奏楽演奏(5月31日/大通西六丁目)

雨上がりの沈床花壇で、札幌青年交響楽団により、行進曲など一〇曲の演奏が行われた。

5 ライラックまつりランドショー(6月1日/市民会館)

例年実施してきたファッシュンショー、洋舞踊ならびにNHK公開番組を『ライラックまつりランドショー』と改称し、北海道各種学校連合会札幌支部、北海道文化団体協議会、NHKの協力を得て実施した。

全体の構成を三部に分け、一部・ファッシュンショー、二部・NHKのど自慢素人演芸会、三部・モダンダンスとバレエとし、午前十一時から午後三時まで催し、好評を博した。

○ファッシュンショー||市内各種学校二〇校 作品四〇点

○モダンダンスとバレエ||洋舞踊一三団体 一七景

6 第七回札幌市絵を描く運動

雨天のため中止。

7 その他

○たそがれステレオコンサート(5月30日、6月1日/大通西六丁目)  
○第一回花の北海道まつり(5月31日、6月1日/大通西六丁目特設

ステージ) 道内の由緒ある郷土芸能を一堂に会して催され、一団体の熱演はつめかけた観客を魅了した。

### ◆広報・宣伝の概要

▽大型ポスター 一、〇〇〇枚▽車内吊ポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 五、〇〇〇枚▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十二回

昭和四十五年五月／一九七〇

### ◆開催期日と会場

昭和四十五年五月二十九日～三十一日(三日間)／大通西四、五、六、

七丁目

### ◆概況

会期前の好天候により期間中にはライラックが満開となり、連日、快晴に恵まれた。

従来は行事の一部を屋内で催していたが、今回からはすべて屋外としたので、うすむらさきのライラックの花の下、諸行事を楽しむ市民や観光客は延三十五万人(推定)に及んだ。

### ◆催しもの概要

1 ライラック植樹祭(5月29日／大通西五丁目)

ライラックまつり関係者約一〇〇人が出席して行い、苗木一〇株を植樹した。とくに今回は、逆境にあってもめげず未来に向ってたくましく成長することを願って、市内養護施設の児童八人も参加した。

また、高知市の『おうちまつり』から贈られたおうちの木(せんだん)二株もあわせて植樹した。

この植樹祭の様子は、大阪万国博電気通信館と結んで、NHKTV『花ひらく大通公園』で生中継された。

2 第八回野外彫塑展(5月29日～6月7日／大通西六丁目)

沈床花壇に市内小中学校の作品四四点を展示し好評だった。

3 NHKTV『音楽の広場』(5月29日／大通西六丁目)

野外ステージで、泉 朱子、コール・プペ、『花の女王』らの出演によるNHKテレビ番組『音楽の広場』を公開録画し、六月六日全道に放送された。

4 野外ページェント(5月30日／大通西六丁目)

○ファッシュンショー

昨年まで市民会館で実施していたが、今回から野外ステージで行い市内の各種学校一九校が参加して洋裁、編物の作品を披露した。

### ○民謡舞踊

沈床花壇において、手に手にライラックを持った芙蓉会民謡グループ約三〇人の出演により、『ライラックの歌』『よさこい鳴子踊り』などを披露した。

○子供バレエ

沈床花壇において、市内の舞踊研究所一三団体から二二〇人の子供たちが出演し、数々のかわいいバレエを熱演して盛んに拍手を浴びた。

○歌唱指導

沈床花壇において、集まった市民に『ライラックの歌』『市民の歌』の歌唱指導を行い、楽しい一時を過ごした。

○バレエとモダンダンス

市内の舞踊研究所八団体の出演により、野外ステージにおいて華麗なバレエとモダンダンス一〇景を披露し観客を魅了した。

○吹奏楽演奏

沈床花壇において、札幌青年交響吹奏楽団の出演により行進曲など五曲を演奏した。

○軽音楽の夕べ

野外ステージにおいて、北海道大学、教育大学、北星学園大学軽音楽部の合同出演により『軽音楽の夕べ』を催し、集まった若い音楽ファンを喜ばせた。

○合同コーラス

札幌声友会、アメリカ文化センター合唱団、白樺会合唱団約六〇人の出演により『リラのピギン』ほか四曲の合同コーラスを催した。はじめての試みであったが、たいへん好評を博し成功をおさめた。

5 春季市民ラジオ体操操会(5月31日／大通西六丁目)

今回はじめての試みである。咲き匂うライラックのもとで、市民の体位向上と健康の増進をはかるため、市内郵便局、NHK、市教委、札幌地区ラジオ体操連盟の協力を得て実施し、市内の小中学生、市民など約七〇〇人が参加した。

6 第八回札幌市絵を描く運動(5月31日／大通西四、五丁目)

札幌市絵を描く運動の会の協力を得て実施し、家族連れの市民約七〇〇人が参加した。作品はステーションデパートに展示した。

7 音楽隊合同演奏(5月31日／大通西七丁目)

今回はじめての試みである。ライラックまつりパレードに先立ち、音楽隊六団体二三〇人による合同演奏を行い、集まった市民や観光客を魅了した。

8 ライラックまつりパレード（5月31日／大通西七丁目出発、南北大通一周コース）

パトنگールを先頭に、道警本部音楽隊など六団体のほかに「花の女王」、『ミスズラン』のオープンカーなどがつらなり、総勢二五〇人で編成。今年はとくに東京ソニー吹奏楽団も特別出演して花を添えた。

9 音楽隊ドリル演奏ならびに各音楽隊演奏会（5月31日／大通西六丁目）

パレード終了後、野外ステージで、パレードに参加した音楽隊によるドリル演奏ならびに吹奏楽演奏会を催し、会場をうづめた観客の拍手をうけた。

10 その他

○たそがれレコードコンサート（5月31日／大通西六丁目）

○第二回花の北海道まつり（5月30日、31日／大通西六丁目）

◆広報宣伝の概要

▽ポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 三、〇〇〇枚▽しおり『ライラックの植え方』三、〇〇〇枚▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十二回

昭和四十六年／一九七二

◆開催期日と会場

昭和四十六年五月二十八日～三十日（三日間）／大通西四、五、六、七丁目

◆概況

会期前の天候不順で開催が危ぶまれたが、幸い会期直前に天候の回復がなり、無事、全日程を終了した。会期中、諸行事を楽しんだ市民や観光客は延四十万人（推定）を数えた。

◆催しもの概要

1 ライラック植樹祭（5月28日／大通西五丁目）

ライラックまつり関係者約一〇〇人が参加して行われた。

とくに今回は、かねて交流を深めている高知市から『ミスおうちまつり』が来札して花を添え、本市からも向当秘書課長らが答礼使節として高知市を訪問、両市友好のきずなをいっそう深めた。

2 第九回野外彫塑展（5月28日～6月6日／大通西六丁目）

小学校三四校、中学校五校、あわせて三九校が出展した。

3 NHK TV「ひるのプレゼント」（5月28日／大通西六丁目）

野外ステージにおいて、マイク真木、前田美波里、トワエ・モア、石田ゆりらが出演して、カラーTV番組「ひるのプレゼント」が華やかに催され、後日、全国に放映された。

4 市内小学校ライラック植樹（5月29日）

今回初めての試みである。児童の健やかな成長とその限らない将来性を祝福し、新陽小学校ほか二九校で行った。

5 野外ページェント（5月29日／大通西六丁目）

○ファッシュンショー

市内の各種学校二三校が参加して、洋裁、和裁、編物などの自作作品を披露した。

○民謡舞踊

沈床花壇において、芙蓉会民謡グループ（市婦協）約三〇人が参加し、『ライラックの歌』『世界の友よ札幌で逢いましょう』のリズムにのって日頃の研鑽振りを披露した。

○子供バレエ

沈床花壇において、市内の舞踊研究所一〇団体から約二五〇人が出演し人気を呼んだ。

○歌唱指導

北海道銀行合唱団、札幌市役所声友会の協力を得て、特設ステージにおいて、『市民の歌』『ライラックの歌』『世界の友よ札幌で逢いましょう』の歌唱指導を行った。

○バレエとモダンダンス

市内の舞踊研究所七団体の出演により、特設ステージでバレエとモダンダンス一景を披露した。

○吹奏楽演奏

沈床花壇において、札幌青年交響吹奏楽団の出演により行進曲など五曲を演奏した。

6 第九回札幌市絵を描く運動（5月30日／大通西四、五丁目）

家族連れの市民約八〇〇人が参加し、熱心に絵筆をうごかした。

7 たそがれコンサート（5月29、30日／大通西六丁目）

初夏の夕べ、音楽愛好者でにぎわった。

8 マンガ野郎展（5月28日～30日／大通西六丁目）

初めての試みである。市内のマンガ愛好家で結成されている札幌漫画人協会の協力を得て、その作品二〇点を展示した。また、毎日紙芝居と先着一〇〇人限りで顔絵をプレゼントし、人気をあつめた。

9 ライラックまつりパレード(5月30日)

午後一時、五段雷の花火を合図に大通西六丁目広場を出発。パトنگールを先頭に、「ミス花の女王」のオーブンカー、北部方面音楽隊ほか六音楽隊がつづいた。北大通を東進、西五丁目通りで右折して南進、さらに南四条通りで左折して市内中心部を一周、沿道は市民や観光客の人垣でにぎわった。

◆広報宣伝の概要

▽ポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 一〇、〇〇〇部▽懸垂幕 道銀ビル



昭和四十七年／一九七二

◆開催期日と会場

昭和四十七年五月二十六日～二十八日(三日間)／大通西五、六丁目・

市役所前庭

◆概況

二十七日に小雨が降ったほかは、初日、最終日も五月晴れの絶好の行事日和に恵まれた。各催しものは、大通西六丁目広場を主会場に予定どおり盛況のうちに終了することができ、会期中の観客数は延二十万人(推定)を数えた。

◆催しものの概要

1 ライラック植樹祭(5月26日／市役所前庭)

市長ならびに道銀頭取、実行委員関係者などが出席し、好天のなか「ミスさっぽろ」も加わって華やかに行われた。

植樹祭は従来から北海道銀行の寄贈を受けて続けられているものだが、今回はとくに、札幌市の政令都市指定、オリンピック開催年などを記念して市庁舎の前庭に植樹した。また、同行から市内小学校七校に各一五本の苗木が寄贈され、さらに例年行われている高知市「おうちまつり」から市長、実行委員会長のメッセージとツツジ三本が贈られた。

2 第十回野外彫塑展(5月26日～6月4日／大通西六丁目)

市内小学校二七校、中学校三校、あわせて三〇校が出展した。

3 マンガコーナー(5月26日～28日／大通西六丁目)

札幌漫画人協会の協力を得て、観光マンガ二〇点を会期中展示した。また、毎日時間を定めて似顔絵を市民にプレゼントしたが、最終日は日曜日とあって一般行楽客も押し寄せ、会員は昼食ぬきで頑張った。

期間中、市民にプレゼントした似顔絵は約六〇〇枚であった。

4 ミュージックタイム(5月26日／大通西六丁目)

女性三人を含むグループサウンドズ「ローレライズリステン」が出演し、「ライラックの歌」「恋の町札幌」をはじめ世界の民謡を歌って好評を博した。

5 ライラックレコードコンサート(5月26日・28日／大通西六丁目)

パブリックセンターの協力を得て、三回にわたり野外コンサートを実施した。ステレオ熱が高まったこともあって、超大型スピーカーから流れる強烈なサウンドにファンは時を忘れて聞き入っていた。

6 ミスサッポロ撮影会(5月27日／大通西五、六丁目)

ミスさっぽろ四人とファッションモデル四人を組み合わせて撮影会を催した。あいにく、当日は小雨まじりの膚寒い気分で撮影会にとっでは悪いコンディションとなったが、一〇〇人ほどのカメラ愛好者が集まり熱心にファッションをのぞいていた。

7 ファッションショー(5月27日／大通西六丁目)

市内の各種学校一五校が洋裁、編物あわせて二五点を出品し、モデルによって華やかに披露された。

8 コーヒー無料試飲会(5月27日／大通西六丁目)

日本コーヒー振興会、北海道喫茶環境衛生同業組合の協力で初めて実施。二、〇〇〇杯のコーヒーを用意したが、一時間余りでなくなるほどの人気であった。

9 子供バレエ(5月27日／大通西六丁目)

舞踊研究所七団体から二七〇人が参加。色あざやかなコスチュームに身を包んだ子供たちが季節はずれの寒さをふきとばして二一景のバレエを熱演した。

10 ライラック苗木プレゼント(5月27日／狸小路二、四、六丁目)

狸小路南店街組合の協賛による初めての試み。狸小路二、四、六丁目三カ所で、ミスさっぽろも加わり一、〇〇〇本の苗木を市民にプレゼント。土曜日の午後とあって三十分たらずで終了した。

11 市民の絵を描く集い(5月28日／大通西五丁目)

絶好の日和に恵まれ、朝から家族連れが三々五々会場に集まり、札幌市絵を描く運動の会会員の指導で熱心に絵筆を走らせていた。

12 春季市民ラジオ体操会(5月28日／大通西六丁目)

13 バレエとモダンダンス(5月28日／大通西六丁目)

市民の舞踊研究所六団体が出演し、一一景のバレエ、モダンダンスを披露した。



- 14 交響吹奏楽演奏（5月28日／大通西六丁目）  
沈床花壇において、札幌青年交響楽団四〇人が出演し行進曲など八曲を演奏した。

- 15 その他  
○かっぱ踊り

最終日の二十八日、大通西六丁目特設ステージに、定山溪の芸妓衆が特別出演し『かっぱ踊り』を披露した。

#### ◆関連行事

- 第一回ほっかいどう祭り（5月27、28日）

道内のすぐれた郷土芸能を一堂に集めて一連の行事を行い、春季観光客の誘致促進をはかるために北海道観光連盟の主催で実施された。

二十七日午後六時、打ちあげ花火と大鼓の乱打で前夜祭が幕を明け、『恵山太鼓』『地獄ばやし』など六芸能が披露された。翌二十八日の本祭りは、駅前通りをパレードしたあと、狸小路を中心に一七団体に よる芸能公演を行い、多くの人出でにぎわった。

#### ◆広報宣伝の概要

- ▽ポスター 一、〇〇〇枚▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽プログラム 五、〇〇〇部▽懸垂幕 道銀ビル



昭和四十八年／一九七三

#### ◆開催期日と会場

- 昭和四十八年五月二十五日～二十七日（三日間）／大通西四、五、六、七丁目・市役所前庭

#### ◆概況

会期中快晴に恵まれ、ライラックが咲き香る明るい日ざしのなかで各種催しものを楽しんだ市民や観光客は延二十五万人（推定）に及んだ。

#### ◆催しものの概要

- 1 ライラック植樹祭（5月25日／市役所前庭）  
四十七年度に新設された小中学校一〇校に各一〇本ずつ、市庁舎前庭に四本のライラックを植樹した。この行事には札幌市長、北海道銀行頭取、実行委関係者が出席し、『ミスさっぽろ』も加わっているどりを添えた。
- 2 第十二回野外彫塑展（5月25日～6月3日／大通西六丁目）
- 3 市内小学校二二校、中学校三校、あわせて二五校が出席。  
マンガ展示（5月25日～27日／大通西六丁目）
- 4 似顔絵プレゼント（5月26、27日／大通西六丁目）  
札幌漫画人協会の協力で実施し人気を呼んだ。とくに最終日は快晴の日曜日とあって親子連れの市民が押しよせ大盛況。期間中、約七〇〇枚の似顔絵をプレゼントした。
- 5 錦鯉の放流（5月26日／大通西五丁目）  
大勢の市民が見守るなか、五丁目の聖恩碑の池に一五〇匹の錦鯉が、市長や関係者の手で放流された。
- 6 ヤング・フォーク・ブラザ（5月26日／大通西六丁目）  
北海道フォーク村、札幌フォーク村、西高フォークソング・クラブなど六団体が出演し『ポスターカラー』『忘れていた朝』などオリジナルものもまじえて発表し、若いフォーク愛好者を魅了した。
- 7 コーヒーサービス（5月26日／大通西六丁目）  
昨年大好評だったためふたたび実施。今回は好天、高温と配付のスピード化を考慮してアイスコーヒーをサービスした。予想どおり好評で、用意した一、〇〇〇杯のコーヒーが四十五分余りで消化される人氣振りであった。
- 8 ライラックコンサート（5月26、27日／大通西六丁目）
- 9 春の市民ラジオ体操会（5月27日／大通西六丁目）
- 10 各種学校ライラック娘（5月27日／大通西四、五、六丁目）  
各種学校一九校から三〇人の生徒が参加。ライラック調の装いで、キャンディー、バッチなどを市民にくばり、華やかにライラックまつりの雰囲気盛りあげた。
- 11 ライラック讃歌（5月27日／大通西六丁目）  
札幌文化団体連絡協議会の協力で、ライラックにちなんだ詩の朗読を市民に披露した。
- 12 バレエとモダンダンス（5月27日／大通西六丁目）  
市内の舞踊研究所二二団体が出演し、二〇景のバレエとモダンダンスを披露した。
- 13 応援団演技合戦（5月27日／大通西七丁目）  
高校、大学七校の応援団が参加し、三九のリーダー種目を公開したなかには『乳しぼり』『どじょうすくい』など各校のスクールカラーがよくでており、市民も足をとめ暑い日差しを忘れて熱心に観戦。
- 14 憩いのひととき『サッポロシンフォニック』（5月27日／大通西六丁目）

北区第八町内会で結成しているサッポロシンフォニックが出演、真部武弘指揮で、『マンボNo.5』『栄光への脱出』ほか六曲を演奏した。

◆広報宣伝の概要

▽ポスター 一、〇〇〇枚▽バッチ 八、〇〇〇個▽プログラム 五、〇〇〇部▽懸垂幕 道銀ビル

第十六回

昭和四十九年／一九七四

◆開催期日と会場

昭和四十九年五月二十四日～二十六日(三日間)／大通西五、六丁目・札幌市資料館

◆概況

今回から、より一層市民の関心を呼びおこすためテーマを制定(第十六回テーマ「さざめく光……咲きにおうライラックの街」)した。また、新しい試みとしてプログラムに、ライラックにちなんだ詩劇と着物ショーなどをとり入れた。

天候不順であったが、会期中の観客数は延八万人(推定)で予定どおり全日程を終了した。

◆催しものの概要

- 1 ライラック植樹祭(5月24日／札幌市資料館)  
四十八年度の新設小中学校に各一〇本の苗木が寄贈された。この行事には市長、道銀頭取、実行委関係者に「ミスさつぽろ」も加わって盛大に行われ、札幌市資料館前庭に二本の成本を植樹した。
- 2 第十二回野外彫塑展(5月24日～6月2日／大通西六丁目)  
市内小学校二校、中学校四校、あわせて二五校が出展した。
- 3 マンガコーナー(5月24日～26日／大通西六丁目)  
札幌漫画人協会の協力で、観光マンガなど一九九点を展示した。また、二十五、二十六日の二日間、二〇〇冊のマンガ本を無料で貸し出した。
- 4 錦鯉の放流(5月24日／大通西五丁目)  
聖恩碑の池に二〇〇匹の錦鯉を、市長や関係者の手で放流した。あわせて「札幌のまちを花でいっぱいにしましょう」と花の種子三、〇〇〇袋を道ゆく市民にプレゼントした。
- 5 油絵展(5月24日～26日／大通西六丁目)  
私立大学六校で結成している私立大学美術連盟の協力で、油絵二〇点を展示し、市民の目を楽しました。
- 6 紙芝居(5月24日～26日／大通西五、六丁目)

在札幌芝居愛好家によって、期間中、毎日二～三回紙芝居を行い、あわせて風船約二〇〇個を子供達にプレゼントして喜ばれた。

7 工芸品・いけ花の展示(5月24日～26日／札幌市資料館)

三才流盤景、盆石、造景大和画、いけ花三三点を展示した。資料館の入場新記録をつくるほどの好評を得た。

8 ライラックコンサート(5月24日～26日／大通西六丁目)

各種のスピーカーを取り付けた生に近いサウンドと、ポピュラー、歌謡曲などバラエティに富んだ選曲で、広場に憩う市民を魅了した。

9 剣詩舞(5月25、26日／大通西六丁目)

『白虎隊』『山中の月』ほか数曲を舞い吟じた。とくに幼い子供たちによる剣舞が喜ばれた。

10 ヤングフォークブラザ(5月25日／大通西六丁目)

ディラーセカンドの出演で『ブカブカ』『ガムをかんで』『茶色い帽子』『君はきつと』など数曲を歌い、小雨降る中での熱演に拍手がわいた。

11 お茶のサービス(5月25日／大通西六丁目)

松泉会の協力で、三〇〇杯のせん茶をサービスした。

12 心で着るライラック着物ショー(5月25日／札幌市資料館)

『生活アイデアする平常着から街着』『着装で変身する楽しみ』『粋とかたぎ』などバラエティに富んだ着物ファッションショー。

13 民俗舞踊(5月25、26日／大通西六丁目)

『相川音頭』『さのさ』『ソーラン節』『日高馬方三下り』ほか数曲。子供たちのかわいい舞踊もまじえて好評だった。

14 子供バレエ(5月25、26日／大通西六丁目)

市内舞踊研究所一〇団体が出演し、『メヌエット』『ガボット』ほか二四曲を披露。

15 野外演奏会(5月25、26日／大通西六丁目)

札幌市民芸術祭実行委員会、野外劇場部会の協力で催された。道警本部音楽隊、高橋水産吹奏楽団、札幌市消防局音楽隊、札幌青年交響吹奏楽団が出演し、マーチ、ポピュラー、歌謡曲から映画音楽と幅広いレパートリーから数曲を演奏。折からの小雨を吹きとばすかのよう

な熱演に観衆の喝采をあびた。

16 詩劇(5月25、26日／大通西六丁目)

在札幌劇団の合同出演によって詩劇『ライラックはそよ風のあなたを愛します』を公演。

17 市民ラジオ体操会(5月26日／大通西六丁目)

18 各種学校ライラック娘（5月26日／大通西六丁目）

各種学校一九校の生徒三二人がライラック調の装いで、道ゆく市民にチョコレートやバッチをプレゼントし、ライラックまつりの雰囲気盛りあげた。

19 合唱（5月26日／大通西六丁目）

札幌の姉妹都市ミュンヘンから北大の講師として招かれているケンブ氏の呼びかけでつくられた合唱団により、ルネッサンス、現代曲、民謡など数曲が披露された。

#### ◆広報宣伝の概要

▽ポスター 一、〇〇〇枚▽バッチ 八、〇〇〇個▽プログラム 五、〇〇〇部▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十七回

昭和五十年／一九七五

#### ◆開催期日と会場

昭和五十年五月三十日～六月一日（三日間）／大通西五、六丁目・札幌市資料館・市民会館前庭

#### ◆催しもの概要

1 ライラック植樹祭（5月30日／市民会館前庭） 北海道銀行からライラックの成木三本、苗木二、〇〇〇本を寄贈される。成木は市民会館前庭に植樹、苗木は大通四丁目で市民にプレゼント。

2 マンガコーナー（5月30日～6月1日／大通西六丁目） 〓マンガ展示、マンガ本の貸し出しを行う。

3 油絵展（5月30日～6月1日／大通西六丁目） 〓青年美術協会の協力で会員の作品を展示。

4 紙芝居（5月30日～6月1日） 〓ザ・チョン座の協力で実演。

5 工芸品・いけ花の展示（5月30日～6月1日／札幌市資料館） 〓いけ花一点、盆石六点、造景大和画五点、三才流盤景七点を展示。

6 人形劇（5月30、31日／大通西六丁目） 〓劇団ひよっ子、劇団ブラコンコが出演し、『がちょうの子』『附子（ぶす）』を上演。

7 野だて（5月30日～6月1日／大通西六丁目） 〓裏千家淡交会、大和遠洲流、表千家同門会の協力で催す。

8 ライラックコンサート（5月30日～6月1日／大通西六丁目） 〓パブリックセンターの協力で催す。

9 似顔絵プレゼント（5月31日、6月1日／大通西六丁目） 〓札幌漫画人協会の協力で行う。

10 コーヒーサービス（5月31日／大通西六丁目） 〓札幌喫茶店同業組合の協力で実施。

11 剣詩舞（5月31日／大通西六丁目） 〓北海道剣詩舞連盟の協力で、富士山』『桜花の詩』『翠に舞ふ』ほか六曲を披露。

12 せん茶のサービス（5月31日／札幌市資料館） 〓松泉会の協力で行う。

13 錦鯉の放流・花の種子のプレゼント（5月31日／大通西五丁目） 〓札幌農林中央金庫札幌支所、札幌市民憲章推進会議の協力で実施。

14 映画会（5月30、31日／札幌市資料館） 〓『新・男はつらいよ』『栄光の背番号3』『この大きな空の下』を上映。

15 子供バレエ（5月31日／大通西六丁目） 〓市内舞踊研究所八団体が出演し、『花籠ポルカ』『アイスクリームのうた』『すてきなマドモアゼル』ほか一二曲を披露。

16 フォークソング・とみたいちろうと共に（5月31日／大通西六丁目） 〓『十二時すぎのシンデレラ』『道』『十九の春』ほか。

17 八丈流人太鼓（5月31日、6月1日／大通西六丁目） 〓ライラックまつりラジオ体操コンクール（6月1日／大通西六丁目） 〓札幌ラジオ体操の会の協力で行う。

18 各種学校ライラック娘（6月1日／大通六丁目） 〓市内各種学校一八校の生徒が参加して市民にライラックまつりワッペンをプレゼント。

19 ソウルを聴こう（6月1日／大通西六丁目） 〓民俗舞踊（6月1日／大通西五、六丁目） 〓菊柳豊秀社中による『札幌音頭』『花いっぱい音頭』ほか一曲、北海道民俗舞踊研究所による『江差三下り』『北海道荷方節』ほか六曲を上演。

20 春を着る着物ショー（6月1日／大通西六丁目） 〓芦野トシ演出による『花と着物』『コートをたのしむ』『着物のところを着る』三部作。

21 詩 劇（6月1日／大通西六丁目） 〓作・原子修、コーラス・さつぽろミュージカルスタジオ、出演・札文団演劇部会により『ライラック』を上演。

22 協賛行事

〓八丈島フラワーガーデン（5月29日～6月4日／大通西二丁目テレビ塔下）

〓春の盆栽展（5月30日～6月2日／札幌市民会館）

〓写真撮影会（6月1日／大通西六丁目） 〓モデル・ミスさつぽろ、花の女王、ライラック娘。

# 第十八回

昭和五十一年／一九七六

## ◆開催期日と会場

昭和五十一年五月二十八日～三十日（三日間）／大通西五、六、七、八丁目

## ◆概況

主会場である大通六丁目会場にはシンボルタワーを設置し、野鳥、カッコーのなき声を通し、雰囲気盛りあげた。会期中は好天に恵まれ、推定観客数は前回は上回る一五万人を記録し、全日程を終了した。

## ◆今回の特色

### 1 交通安全運動・美化推進運動の実施

ライラックまつりとおして交通安全・美化運動の啓蒙をはかるべく、北海道各種学校札幌支部の生徒（ライラック娘）の協力を得て、交通安全のワッペン・ステッカー、ゴミ持ち帰り袋を市民にプレゼントした。

### 2 ライラックギャラリーの実施

期間中、市民が制作した約二六〇点の絵画を展示。屋外での展示はめずらしく多くの市民の関心をえた。

### 3 ライラック市民音楽祭の実施

大通西六丁目の舞台では、ゲタ・サンダルばきなどふだん着の素人が愛用のギターを抱え、力いっぱい熱演に市民も大喜びだった。

## ◆催しもの概要

### 1 ライラック市民ギャラリー（5月28日～30日／大通西七丁目）

市内の絵画教室、大学の美術部、絵画サークルの協力で約二六〇点の絵画を展示。屋外ギャラリーはめずらしい企画であるため、市民や観光客の関心を呼んだ。

### 2 ジャンボ紙芝居（5月28日～30日／大通西七丁目）

紙芝居愛好家によってベニヤ大の紙芝居を笑演し、とくに子供連れの家族でにぎわった。

### 3 野だて（5月28日～30日／大通西六丁目）

裏千家淡交会、表千家同門会、大和遠洲流、方円流松泉会の協力で期間中交替でお点前を披露し、ふりそそぐ陽光の下で年配者からヤングまで多くの市民に野だてのサービスをした。

### 4 金曜コンサート（5月28日／大通西六丁目）

陸上自衛隊北部方面音楽隊の演奏により、勇壮な行進曲からポピュ

ラーまで披露、昼休みのひととき、市民を楽しませた。

### 5 ライラック植樹祭（5月28日／大通西五丁目）

六月十日の地下鉄東西線の開通を祝し、大通西五丁目地下鉄駅花壇に北海道銀行から寄贈をうけたライラックの成木二本を植樹した。

### 6 錦鯉の放流・花の種子のプレゼント（5月29日／大通西五丁目）

農林中央金庫札幌支所から市民憲章推進会議に錦鯉と花の種子が贈られ、板垣市長やミスさっぽろら関係者が聖恩碑の池に二〇〇匹の錦鯉を放流し、三、〇〇〇袋の種子を道ゆく市民にプレゼントした。

### 7 コーヒーサービス（5月29日／大通西六丁目）

北海道喫茶業環境衛生同業組合のご好意により、一、〇〇〇杯のアイスコーヒーを市民にプレゼントした。

### 8 マイバウム贈呈式（5月29日／大通西一丁目）

姉妹都市ミュンヘンからプレゼントされたマイバウム（五月の木）の贈呈式が、ミュンヘンからのお客さまを迎え、千人近い市民が参加して盛大に行われた。

### 9 ライラックの苗木プレゼント（5月29日／大通西四丁目）

北海道銀行から寄贈を受けた三、〇〇〇本の苗木を市民にプレゼントした。

### 10 フォーク・ダンスを踊ろう（5月29、30日／大通西八丁目）

土・日の市民の憩いのひととき『マイム・マイム』『パタ・パタ』など数曲を楽しく踊った。

### 11 どさんこ太鼓（5月29日／大通西六丁目）

郷土芸能「どさんこ太鼓」の勇壮なひびきが市民を魅了した。

### 12 ラジオ体操コンクール（5月30日／大通西六丁目）

### 13 写生会（5月30日／大通西五丁目）

北海タイムス社と共催で、市内の小学生を対象に行い、六月二十四日東急百貨店で展示発表。

### 14 あなたも参加名画に挑戦（5月30日／大通西七丁目）

「一枚の絵をみなさんで」をめざして、縦一・八、横二・七の画面をジクソー形式で、二〇枚で一つの絵画を創作してもらおう企画。家族連れ、若いアベックなどに好評を得、予定時間を大幅に短縮してみごとに完成した。

### 15 ライラック娘による交通安全・美化推進運動（5月30日／歩行者天国、大通公園）

市内各種学校から参加した約三〇人のライラック娘が、大通公園、歩行者天国を散策する市民に「セーフティワッペン」「ゴミ持ち帰り

袋”などをプレゼントし、交通安全と美化に一役買った。

16 写真撮影会（5月30日／大通西七丁目）

ミスさっぽろ、ライラック娘をモデルに、ライラックの花を背景に華やかに催した。

17 ライラック音楽祭（5月30日／大通西六丁目）

《一部》市民音楽祭Ⅱ素人ばかりの音楽愛好家の熱演、手話通訳者による解説など、気軽なフォーク中心の音楽祭であった。

《二部》オーディオコンサートⅡポピュラー、ポップス、歌謡曲と幅広いリクエストを中心に、ふだん耳にできない迫力のあるサウンドを楽しんだ。

#### ◆協賛事業

1 八丈島フラワーガーデン（5月28日～30日／大通西一丁目）Ⅱテレビ塔下で、南国八丈島の観葉花卉の展示と即売。

2 春の盆栽展（5月28日～30日／札幌市民会館）Ⅱ北海道盆栽会会員の作品約二〇〇点を展示。

3 札幌文学散歩（5月28日／市内観光地、札幌市資料館）Ⅱ第三回郷土史講座『札幌文学散歩』を開催。六〇人が参加し、市内観光地を木原直彦氏の説明で視察、好評であった。

4 第二回街路樹愛護標語・作文コンクール

5 第一回ライラック8ミリコンクール（5月28日～30日／大通公園）  
Ⅱライラックまつりにちなみ『ライラック』をテーマに、8ミリ撮影会を行った。

#### ◆広報宣伝の概要

▽プログラム 二、〇〇〇部▽ワッペン 八、〇〇〇枚▽ライラック塔  
大通西六丁目にシンボルタワーを設置▽懸垂幕 道銀ビル

## 第十九回

昭和五十二年／一九七七

#### ◆開催期日と会場

昭和五十二年五月二十七日～二十九日（三日間）／大通西五、六、七

丁目

#### ◆催しものの概要

ことしも記念植樹、ライラックの苗木二千本をプレゼント、子供写真会、撮影会、野だてなどのほか、ライラックをテーマにした絵や彫刻を一般市民から募集、七丁目に展示する『ライラックギャラリー』、図書館から借り出した本を芝生の上でのんびり読んでもらう『青空文庫』な

ど、文化の香りのする催しを多くとり入れる。

また、昨年初めて行った市民音楽祭をことしはさらに力を入れ、ライラックまつりの名物行事にすることになった。市内のアマチュアグループに広く参加を呼びかけ、ジャズ、ポピュラー、合唱などジャンルを問わず、会場の特設舞台にあがってもらい、会場を訪れる市民に楽しんでもらうと同時に、発表の場がないアマチュアのグループに演奏の場を与える一石二鳥をねらっている。（北海タイムスⅡ52・4・21）

## 第二十回

昭和五十三年／一九七八

#### ◆開催期日と会場

昭和五十三年五月二十六日～二十八日（三日間）／大通西四、五、六、七丁目

#### ◆概況

今回は時計台創建一〇〇年、札幌市創建一一〇年を祝って開催した。初日は午後から小雨もようとなったが、二日目、三日目はまずまずの天候に恵まれ、最終日の日曜はとくに家族連れで賑わった。

二〇回という記念すべき年にあたり、一時途絶えていた『ライラックのうた』を復活させたが市民から好評をもって迎えられ、マスコミにも大きく取りあげられた。また、プログラムに人形劇や大学応援団リーダー公開なども復活させたので、文化的な催しのなかにもユーモアがあり市民や観光客を喜ばせた。

今回はHBCテレビとSTVラジオがライラックまつりの会場で生番組を制作したのをはじめSTVテレビ、NHKテレビ、HBCラジオ、ラジオ関西などでも企画が生まれ、ライラックまつりを広く国内にPRする機会に恵まれた。

これらによりまつりムードは一層盛りあがりを見せ、会期中の観客は延二二万人（推定）を数えた。

#### ◆プログラム

1 ライラック市民ギャラリー（5月26日～28日／大通西七丁目） 参加団体Ⅱ片原絵画教室、画友77、すみれ会、白石ポッポ、青年美術協会、北日本美術協会

2 ジャンボ紙芝居（5月26日～28日／大通西五丁目） 出演Ⅱザ・チヨン座

3 野だて（5月26日～28日／大通西五、六丁目） 裏千家淡交会、表千家同門会、大和遠洲流、方円流

- 4 ライラック音楽祭（5月27、28日／大通西六丁目特設ステージ）  
出演Ⅱザ・キヤラバン、ウィ・スリー、中原ミカ、オーブンスカイ、山本あつし、ルディ・レデイス、ソールパワー、ブライインド・ホース、アーリー・アンド・デイト、ラリーポップ、エアシロン、ブラックホール、オーサン、ビコーズ、越前谷明美、トータル・マス・リテイー  
ン
  - 5 ライラック植樹祭（5月26日／大通西四丁目） ○ライラック植樹  
○『ライラックのうた』歌唱指導 ○ライラックミニコンサートⅡ陸  
上自衛隊第十一音楽隊
  - 6 金曜コンサート（5月26日／大通西六丁目特設ステージ） 演奏Ⅱ  
陸上自衛隊北部方面音楽隊
  - 7 青空文庫（5月27、28日／大通西五丁目） 協力Ⅱ道立図書館、講  
談社、小学館
  - 8 似顔絵プレゼント（5月26日～28日／大通西七丁目） 協力Ⅱ青年  
美術協会
  - 9 ライラック苗木プレゼント（5月26日～28日／大通西四丁目） 苗  
木寄贈Ⅱ北海道銀行
  - 10 錦鯉の放流（5月27日／大通西五丁目） 共催Ⅱ札幌市民憲章推進  
会議 協力Ⅱ農林中央金庫札幌支所
  - 11 ラジオ体操コンクール（5月28日／大通西六丁目特設ステージ）
  - 12 写生会（5月28日／大通西五丁目） 共催Ⅱ北海タイムス社 入選  
作品展示Ⅱ東急デパート
  - 13 写真撮影会（5月28日／大通西五丁目） モデルⅡミスさっぽろ、  
ライラック娘
  - 14 私立大学応援団リーダー公開（5月28日／大通西七丁目） 参加Ⅱ  
北海道大学、酪農学園大学、北海道工業大学
  - 15 人形劇（5月27、28日／大通西五丁目） 出演Ⅱ人形劇団ひよっこ
- ◆協賛行事
- 1 八丈島フラワーガーデン（5月26日～28日／テレビ塔一階） 主催  
Ⅱ株式会社全日本緑花
  - 2 第三回おまつり8ミリコンクール（5月26日～28日／大通公園）  
主催Ⅱ読売新聞北海道支社
  - 3 一九七八さっぽろ野外市民彫刻展（5月27、28日／大通西六丁目）
- ◆催しもの概況
- 初日の二十六日は午前十時から大通西四丁目で開催式（植樹祭）。板垣市長が「まつりが成人式を迎え、ライラックは名実ともに札幌の木に育

った」とあいさつ。北海道銀行、札幌文化団体協議会などが功労者として表彰され、続いて市長、ミスさっぽろ、ライラック娘たちが三本のライラックを公園内に植えた。

このあと、陸上自衛隊第十一音楽隊の演奏に合せて道銀合唱団が『ライラックのうた』の歌唱を指導。まつりが始まった三十四年から毎年まつりのたびに歌われながら四十二年を境にプログラムから消えた歌のりバイバルだが、古さを全く感じさせない歌詞とメロディに集まった市民も思わず引き込まれ、声の輪が広がった。

まつりは野だて、ニシキゴイの放流、人形劇、ライラック苗木プレゼントなどの行事が予定されている。（北海タイムスⅡ昭53・5・26）

○ さっぽろライラックまつり二日目の二十七日、大通西五丁目の聖恩碑池に半年ぶりに二百匹のニシキゴイが放流された。

このコイは昨年十月中旬、池からあげられて水そうの中で越冬していたもので、冬の間に病気になったりして減った分は、ことしも農林中金札幌支所が補充した。板垣市長、ミスさっぽろがポリバケツから三、四十匹もあるコイを池に放すと、赤や金色のコイが太陽をいっばいに浴びて泳ぎ回り、池を囲んだ市民から一斉に拍手がわいた。

コイの放流に先立って正午すぎから市民憲章推進パレードが行われ、パトントワラーを先頭にミスさっぽろ、ライラック娘が都心を練り歩いて、明るい街づくりを呼びかけた。（北海タイムスⅡ53・5・28）

○ ライラックまつり二日目の二十七日は穏やかな日和我が戻り、土曜日ということもあって、大通西四～七丁目の会場は各種行事を楽しむ市民でにぎわった。

この日、七丁目では市民から寄せられた絵画を展示した市民ギャラリーと似顔絵プレゼント、六丁目では野点、五丁目では道立図書館移動車による青空文庫、五丁目では紙芝居、人形劇が開かれて、親子連れなどで気ままにまつりムードを楽しんでいた。

この日のメインは五丁目のニシキゴイの放流と花のタネプレゼント。午後零時二十分、五丁目の聖恩碑前から、パトنگールを先頭にパレードが出発、市民憲章の意義を市民に訴えて歩き、このあと午後一時、板垣市長、市民代表が聖恩碑の池に二〇〇三〇匹もあるニシキゴイ二百匹を放した。これに続いて同会場では、ミス札幌や三十人のライラック娘、日赤奉仕団の二十人が花のタネのプレゼント。市民は、アサガオやオシロイバナ、パンジーなどのタネの袋を受け取って思わずニココリ。

ライラックまつりでにぎわう大通公園六丁目広場で二十七、二十八の両日、さっぽろ野外市民彫刻展（札幌青年会議所主催）が開かれている。同会議所が提唱している「さっぽろアートパーク」構想の一環で、市民から集めた約五十点の彫刻を広場に展示、道行く市民に開放した。また広場の中にチビツ子向けのコーナーも設け、用意された紙粘土や板切で自由に工作を楽しむ家族連れがいつぱい詰めかけ、初夏を思わせる青空の下、市民の芸術広場にふさわしいムードがあふれていた。（毎日新聞昭53・5・28）

ライラックまつり最終日の札幌は、時折、霧雨に見舞われたが、おおむね青空に恵まれた。催し物が始まった午前十一時すぎから、大通公園は家族連れや若いカップルで埋まった。

五丁目ではユーモラスなだるまさんの人形劇に、子供たちは大喜び。北大民謡研究会の歌と踊りに人がぎができた。七丁目野外ステージからは軽い音楽も流れ、今盛りと咲き乱れるライラックの甘い香りととけ合うよう。五、六丁目で行われた野だてにも人気が集まっていた。

この会場に正午ごろ繰り込んできたのが、第二十回北大祭の開幕を飾る仮装行列。教養部の各クラスごとに『孫悟空』や『みこし』『竜王』など思い思いの仮装をこらし、先頭には破ればかまの応援団が高ゲタ姿でホラ貝を鳴らして景気づけ。行列の長さは一、にも続き、その「ナンセンス」ぶりに沿道から笑いがもれた。（北海道新聞昭53・5・28）

#### ◆広報宣伝の概要

▽プログラム 二、〇〇〇部▽ワッペン 五、〇〇〇枚▽懸垂幕 道銀ビル

## 第二十一回

昭和五十四年／一九七九

#### ◆開催期日と会場

昭和五十四年五月二十五日～二十七日（三日間）／大通西五、六、七、八丁目

#### ◆概況

今年は天候不順で大通公園のライラックも例年より開花が遅くまつり関係者を心配させたが、初日から真夏を思わせる好天に恵まれた。絶好のまつり日和のもと、オープニングセレモニーの植樹祭を皮切りに国際児童年を祝いつつ開催した。

今回はブームになっている大学生による落語を加え、また、これまで

実施してきた音楽祭を報道機関などの協力を得て企画を一新し、『第一回さっぽろ音楽祭』と銘打って実施するなど展開をはかった。その結果、観客も延三二万人（推定）を記録し成功裡に終了した。

#### ◆催しものの概要

- 1 ライラック植樹祭（5月25日／大通西五丁目）  
○ライラック植樹（寄贈北海道銀行）  
○『ライラックのうた』歌唱指導（北海道銀行合唱団 演奏陸上自衛隊北部方面音楽隊）  
○ライラック娘による『ライラックのうた』ソノシートのプレゼント

- 2 ライラック苗木プレゼント（5月25日／大通西五丁目） 寄贈北海道銀行 三、〇〇〇本

- 3 ライラックギャラリー（5月25日～27日／大通西七丁目） 参加サークル青年美術協会、北日展、片原絵画教室、画友77、白石ポッポ、札幌美術部 出品数一四七点

- 4 野だて（5月25日～27日／大通西六丁目） 大和遠州流、裏千家淡交会、表千家同門会、方円流

- 5 似顔絵プレゼント（5月25日～27日／大通西七丁目） 協力青年美術協会 約五〇〇枚

- 6 青空文庫（5月26、27日／大通西五丁目） 協力道立図書館、小学院、講談社、市立中央図書館

- 7 落語（5月26日／大通西六丁目） 協力北海道学生落語連盟 参加大学札幌大学、札幌商科大学、酪農大學、小樽商科大学、北星大學

- 8 錦鯉の放流と花の種子のプレゼント（5月26日／大通西五丁目） 市民憲章推進会議 寄贈農林中央金庫札幌支所

- 9 人形劇（5月26日、27日／大通西六丁目） 出演人形劇団プランコ

- 10 写生会（5月27日／大通西五丁目） 共催北海道タイムス社 入選作品展示（そごうデパート）

- 11 写真撮影会（5月27日／大通西五～八丁目）
- 12 第一回さっぽろ音楽祭（5月26、27日／大通西六丁目）後援北海道放送 協賛資生堂 入賞ゴールデングランプリ賞・ホット&ナ

- ーステター、ニューミュージック部門グランプリ賞・ホット&ナ  
謡曲部門グランプリ賞・斉藤元宏、ポピュラー軽音楽部門グランプリ賞・ホット&ナ  
賞・ホット&ナステター、作詞・作曲部門グランプリ賞・ハーフム  
ーン、審査員特別賞・クライム、作曲賞・小野寺ジョージ

◆協賛行事

- 1 金曜コンサート(5月25日/大通西五丁目) 演奏||陸上自衛隊北  
部方面音楽隊
- 2 第五回ラジオ体操コンクール(5月27日/大通西六丁目) 主催||  
札幌ラジオ体操の会

◆広報宣伝の概要

- ▽プログラム 四、〇〇〇部▽シンボルバッチ 四、〇〇〇個▽懸垂幕  
道銀ヒル

第二十二回

昭和五十五年/一九八〇

◆開催期日と会場

- 昭和五十五年五月三十日~六月一日(三日間)/大通西四、五、六、  
七、八丁目

◆催しもの概要

- 1 ライラック植樹祭(5月30日/大通西四丁目) ○ライラック植樹  
○『ライラックのうた』歌唱指導(北海道銀行合唱団 演奏||陸上  
自衛隊北部方面音楽隊)
- 2 ライラックの苗木プレゼント(5月30日/大通西四丁目) 寄贈||  
北海道銀行 三、〇〇〇本
- 3 ライラックギャラリー(5月30日~6月1日/大通西七丁目)
- 4 野だて(5月30日~6月1日/大通西五、六丁目) 裏千家淡交会、  
方円流、表千家同門会、大和遠州流
- 5 似顔絵プレゼント(5月30日~6月1日/大通西七丁目) 協力||  
青年美術協会、さっぽろ漫画人協会
- 6 金曜コンサート(5月30日/大通西四丁目) 演奏||陸上自衛隊北  
部方面音楽隊
- 7 人形劇(5月31日、6月1日/大通西六丁目)
- 8 青空文庫(5月31日、6月1日/大通西五丁目) 協力||市立中央  
図書館、講談社、小学館
- 9 錦鯉の放流(5月31日/大通西五丁目) 共催||札幌市民憲章推進  
会議 協力||農林中央金庫札幌支所
- 10 落語(5月31日、6月1日/大通西六丁目) 出演||三笑亭夢太  
朗、北海道学生落語連盟 協力||UHB北海道文化放送
- 11 第二回さっぽろ音楽祭(5月31日、6月1日/大通西八丁目) 後  
援||北海道放送

◆協賛行事

- 1 文人劇『再御見得 忠臣蔵』(6月1日/市民会館) 主催||札幌  
文化団体協議会
- 2 ラジオ体操コンクール(6月1日/大通西六丁目) 主催||札幌ラ  
ジオ体操の会 後援||NHK北海道本部、札幌地区ラジオ体操連盟

- 3 札幌アートパーク・チビッツ芸術広場(5月31日、6月1日/大通  
西五丁目)○チビッツ造形広場 ○チビッツ落書広場 ○アートパー  
クスライド上映 主催||札幌青年会議所

第二十三回

昭和五十六年/一九八一

◆開催期日と会場

- 昭和五十六年五月二十九日~三十一日(三日間)/大通西四、五、六、  
七、八丁目

◆催しもの概要

- 1 ライラック植樹祭(5月29日/大通西四丁目) ○ライラックの歌  
碑除幕 ○ライラック植樹(寄贈||北海道銀行)○ライラックミニコ  
ンサート(演奏||陸上自衛隊第十一音楽隊 合唱||豊平区民センター  
コールブランチ、北海道銀行合唱団)  
○ライラックの苗木プレゼント(寄贈||北海道銀行 三、〇〇〇本)
- 2 金曜コンサート(5月29日/大通西四丁目) 演奏||陸上自衛隊第  
十一音楽隊
- 3 野だて(5月29~30日/大通西五、六丁目) 裏千家淡交会、方円  
流、大和遠州流、小笠原流、表千家同門会、宝千流
- 4 ライラック市民ギャラリー(5月29日~31日/大通西七丁目)
- 5 青空教室(5月29日~31日/大通西七丁目) ○七宝焼・刺しゅう  
教室 ○孔画教室 協力||孔画作家協会、マリア手芸店
- 6 似顔絵コーナー(5月29日~31日/大通西七丁目) 協力||青年美  
術協会、札幌マンガ人協会
- 7 青空文庫(5月30、31日/大通西五丁目) 協力||市立中央図書館  
協賛||講談社、小学館
- 8 錦鯉の放流(5月30日/大通西五丁目) 共催||札幌市民憲章推進  
会議 協力||農林中央金庫札幌支所
- 9 人形劇(5月29、30日/大通西六丁目野外ステージ) 出演||札幌  
市こども人形劇場(こぐま座) 後援||UHB北海道文化放送
- 10 落語(5月30、31日/大通西六丁目野外ステージ) 出演||三笑



- 亭夢太郎、北海道学生落語連盟 後援||UHB北海道文化放送  
11 第三回さっぽろ音楽祭(5月30、31日/大通西八丁目) 後援||北海道放送

◆協賛行事の概要

- 1 文人劇『恒例文人忠臣蔵』(5月30日/札幌市民会館) 主催||札幌文化団体協議会
- 2 写真撮影会(5月31日/大通公園) モデル||ミスさっぽろ、ライラック娘 主催||さっぽろ写真研究会 後援||富士写真フィルム
- 3 八丈島フラワーガーデン(5月29日/31日/大通西一丁目テレビ塔下) 主催||社団法人緑花情操協会

第千四百回

昭和五十七年/一九八二

◆開催期日と会場

- 昭和五十七年五月二十八日(三日間)/大通西四、五、六、七、八丁目

◆概況

初日の午前中、小雨がちらつく天候だったが、その後は晴天に恵まれ、予定されていた行事はすべて実施することができた。

オープニング行事である植樹祭には、本市とミュンヘン市との姉妹都市提携一〇周年を記念し、ルフトハンザ航空のシュワーデスがミュンヘン市長のメッセージを携えて来札し、市民に披露されるとともに、北海道銀行からミュンヘン市へライラックの成木五本が贈呈された。セレモニーの後、恒例となったライラックの苗木三、〇〇〇本を市民や観光客にプレゼントした。

西五丁目では青空文庫、錦鯉の放流、小学生を対象とした写生会が行われた。野だては西五、六丁目の二会場で行われ連日、満席の盛況ぶりであった。

西六丁目野外ステージでは人形劇、落語、パズルクイズなどが行われ、多くの観客で賑わった。西七丁目ではギャラリィ、似顔絵プレゼント、孔画教室が行われ、市民の目を楽しませた。西八丁目ではさっぽろ音楽祭が催され、フォークやロックの演奏に多くの若者が魅了された。

今回の会期中の人数は延三二万人(推定)に及んだ。

◆催しもの概要

- 1 ライラック植樹祭(5月28日/大通西四丁目) ○ライラックまつり  
オープニングセレモニー(札幌・ミュンヘン都市提携)一〇周年記念

行事) ○ライラック植樹(寄贈||北海道銀行) ○ライラックミニコンサート(合唱||ママさんコーラス・コールブランチ、北海道銀行合唱団 演奏||陸上自衛隊第十一音楽隊)

- 2 ライラックの苗木プレゼント(5月28日/大通西四丁目) 寄贈||北海道銀行
- 3 金曜コンサート(5月28日/大通西四丁目) 演奏||陸上自衛隊第十一音楽隊
- 4 野だて(5月28日/30日/大通西五、六丁目) 裏千家淡交会、宝千流鳳泉会、大和遠州流、日本礼道小笠原流、裏千家同門会、方円流松泉会
- 5 ライラック市民ギャラリィ(5月29、30日/大通西七丁目)
- 6 孔画教室(5月28日/30日/大通西七丁目) 協力||孔画作家協会
- 7 似顔絵プレゼント(5月28日/30日/大通西七丁目) 協力||青年美術協会、札幌マンガ人協会
- 8 青空文庫(5月29、30日/大通西五丁目) 協力||市立中央図書館 協賛||講談社、小学館
- 9 錦鯉の放流と花の種子のプレゼント(5月29日/大通西五丁目) 共催||札幌市民憲章推進会議 協力||農林中央金庫札幌支所
- 10 写生会(5月30日/大通西五丁目) 共催||北海タイムス社 後援||札幌市教育研究協議会小学校図工部
- 11 写真撮影会(5月30日/大通公園) モデル||ミスさっぽろ、ライラック娘 後援||札幌写真協会、富士フィルム
- 12 パズル・クイズ(5月29、30日/大通西六丁目野外ステージ)
- 13 人形劇(5月29、30日/大通西六丁目野外ステージ) 出演||札幌市こども人形劇場(こぐま座)
- 14 青空寄席(5月29、30日/大通西六丁目野外ステージ) 出演||三笑亭夢太郎、北海道学生落語連盟
- 15 ザ・チョン座(5月30日/大通西六丁目野外ステージ) パントマイムと演奏
- 16 第四回さっぽろ音楽祭(5月29、30日/大通西八丁目特設ステージ) 後援||北海道放送
- 17 喫茶コーナー(5月28日/30日/大通西七丁目) 協力||札幌喫茶店同業組合

◆協賛行事

- HBCKリーディングキャンペーン(5月28日/30日/大通西七丁目) 主催||北海道放送

## ◆広報宣伝の概要

▽プログラム 四、〇〇〇部▽シンボルバッチ 二、六〇〇個▽懸垂幕道銀ビル

## 第二十五回

昭和五十八年／一九八二

## ◆開催要領

## 1 趣旨

札幌の木ライラックが花咲き揃い戸外へ誘われる季節に、文化的な香りのする行事を通し、春の大通公園を市民が楽しめる『コミュニティ広場』とする。

## 2 主催

札幌市、札幌市教育委員会、札幌商工会議所、社団法人札幌観光協会、定山溪観光協会、札幌市民憲章推進会議、札幌文化団体協議会、北海道私立専修学校各種学校連合会札幌支部

## 3 後援

北海道新聞社、北海道タイムス社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、報知新聞社、日刊スポーツ新聞社、NHK札幌放送局、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道文化放送

## 4 協力

北海道銀行

## 5 開催期間

昭和五十八年五月二十七日～二十九日(三日間)

## 6 会場

大通公園西四、五、六、七、八丁目

## 7 運営方針

- (1) 札幌の木であるライラックに対する愛着を深める。
- (2) 広く道内一円の音楽愛好家に公開演奏の場を提供し、一流の音楽専門家を審査員に迎え、グランプリを選抜するコンテストとし、アーティストの発掘と育成に寄与する。
- (3) 絵の展示とともに観客が参加できるコーナー及び喫茶コーナーを設置し、会場の雰囲気盛り上げギャラリー会場の充実を図る。
- (4) 協賛行事との連絡調整を図る。
- (5) 諸行事を通し、大通公園を市民が楽しめる『コミュニティ広場』とする。

## 8 実施行事

- (1) 植樹祭 (2) 苗木のプレゼント (3) ライラック市民ギャラリー (4) 似顔絵プレゼント (5) さっぽろ音楽祭 (6) 野だて (7) 人形劇 (8) 錦鯉の放流と花の種子のプレゼント (9) 青空文庫 (10) 落語 (11) 写生会 (12) 真コンテスト (13) 金曜コンサート (14) 青空教室(孔画) (15) ライラック娘 (16) 喫茶コーナー

## 9 協賛行事

八丈島フラワーガーデン

## ◆概況

初日の午前中、小雨がバラつく天候であったが、その後は晴天に恵まれ、予定されていた行事はすべて盛況裡に終了した。

会期中の人数は延三五万人(推定)であった。

○

ライラックまつり初日の日中最高気温は一三・七度。大陸から近づいている低気圧のため、早朝からの小雨が地面をぬらして、まつり会場の大通公園はリラ冷えの雰囲気があふれた。開会式(植樹祭)は午前十一時から大通西四丁目広場で行われたが、噴水を囲んだ約二千人の市民は傘をさしての見物でちよっぴり寒そう。

特設ステージに上がった道銀の森鼻武芳頭取が、板垣武四市長にライラックの苗木三千本の目録を手渡し、板垣市長が『ライラックの開花が例年より早かったので心配した。ライラックまつりも今年で四半世紀を迎えた。札幌の木であるライラックが、どこの家にも植えられるようになってほしい』とあいさつ。続いて西四丁目広場の北側に高さ一・五メートルのライラックの記念植樹が行われた。

特設ステージでは豊平区の婦人コーラスサークル『コトルブランチ』と道銀合唱団、そして陸上自衛隊第十一音楽隊が『ライラックのうた』の共演。最後に会場では寄贈されたばかりのライラックの苗木のプレゼントが行われたが、今までの静かな雰囲気が一転して、パーゲンセル並みの混雑ぶり。先を争うようにして、ライラック苗木を受け取る市民の列が三百メートル続いた。

大通西五、六丁目では市内六流派が参加しての野だてが催され、こちらはグンと静かなムード。また、昼は特設ステージで、第十一音楽隊のコンサートが催され、『微妙なとこね』『うふふふ』などのおなじみの曲の演奏に聞かせる市民が楽しそう。また、小雨のため展示をためらっていた、西七丁目の市民ギャラリーは結局、降雨を懸念して二十八日からの開催となった。(北海道タイムス 昭58・5・28)

目玉は、このほど札幌市青少年科学館に納入された世界初の移動天文車(アストロカー)の一般公開。まつり開催期間中、大通公園西八丁目、午前十時から午後五時まで公開されるが、SFの世界に誘う夢の車とあって、ちびっ子には人気を呼びそうだ。(読売新聞 昭58・5・26)

「リラ冷え」から一転して真夏を思わせる陽気となった二十九日の札幌は、最終日を迎えた『さっぽろライラックまつり』にどっと人出が繰り出した。薄紫色のライラックの房が風に揺れる大通公園では市民参加の行事が行われ、ようやく訪れた汗ばむ季節を楽しんでいた。

アマチュア大熱演

○：第五回さっぽろ音楽祭の本選が行われた大通西八丁目広場には数千人の若者が集まり、激しいロックのリズムとアマチュアミュージシャンたちの熱演に酔いしれた。

この音楽祭には、道内各地で活躍しているグループやソロシンガーなど五十七組が応募。第一次のテープ審査などを経て、この日の本選に残ったのは歌唱・演奏部門六組とオリジナル部門十一組の合わせて十七組。会場に設けられた特設ステージで、審査員の宮川泰さん(作曲家)や、かまやつひろしさん(シンガーソングライター)らを前に持ち味を十二分に発揮。特に、会場にはレコード会社やプロダクションのスカウトも顔を見せているとあってふだん以上にやる気満々。過去に、この音楽祭でグランプリを獲得してレコード会社のオーディションを受けた人もあるが、残念ながらプロの道へ進むまでには至らなかっただけに、この日、本選に出場した全員が『われこそは』と大張り切りだった。

本選の結果、見事グランプリに輝いたのはオリジナル部門の『トラック シュダック』で、札幌市長桶と賞金三十万円を獲得した。また、グランプリ準賞には歌唱・演奏部門が『エクストラ・サウンド・オーケストラ』、オリジナル部門が『TEPPEI・L.A.B.E.L・B.A.N.D』に決まった。

ちびっ子画伯頑張る

○：大通西五丁目では北海タイムス社主催の写生会が行われ、市内の小学生約二百人が父母とともに参加。すっかり夏めいた日差しを浴びながら、テレビ塔や咲き誇るライラックなど大通公園の風景を、思い思いに描いた。

この写生会はさっぽろライラックまつりの協賛行事として毎年実施されているもの。この日は気温も二〇度を超え絶好の写生日和とあって、参加したちびっ子画伯も、クレヨンや水彩絵の具を駆使しながら、照り

つける陽光の下で伸び伸びと筆を走らせた。

作品の表彰式は六月十一日にテレビ塔会議室で行われたほか、同九日十四日まで丸井今井大通新館で展示され、市民の目を楽しませる。

大胆なアングルで

○：大通公園の各会場では、ミスさっぽろとライラック娘をモデルにした写真撮影会が行われ、腕に自信のあるアマチュアカメラマンが、最新型のカメラを駆使し、プロ顔負けの積極さと大胆なアングルでシャッターを切りまくった。

また、六丁目の野外ステージでは人形劇場『こぐま座』の特別公演と三笑亭夢太郎や道学生落語連盟による青空寄席も行われ、強い日差しを遮った木陰の下で市民はひと時の笑いを楽しんだ。(北海タイムス 昭58・5・30)

広報宣伝の概要

▽プログラム 四、〇〇〇部▽シンボルバッチ 三、〇〇〇個▽懸垂幕道銀ビル

第二十五回さっぽろライラックまつり実行委員

名誉会長	今井道雄	札幌商工会議所会頭、札幌観光協会会長
会長	小泉徳太郎	北海道私立専修学校各種学校連合会会長
副会長	国松登	札幌文化団体協議会会長
監事	向井慎一	札幌商工会議所業務部長
	讚岐誠一	定山溪観光協会専務理事
委員	齊藤大雄	札幌文化団体協議会事務局長
	松本克士	札幌観光協会専務理事
	津田光夫	札幌観光協会常務理事
	浦田蘊	北海道銀行業務企画部長
	細田恵子	札幌文化団体協議会事務局次長
	山本勲	北海タイムス社事業部長
	森山圭悦	北海道放送テレビ局営業推進部副部長
	合田一道	北海道文化放送営業局事業部長
	勝藤正芳	北海道私立専修学校各種学校連合会事務局長
	長谷川義政	札幌文化団体協議会
	上河辺長	
	木村宗靖	
	長谷川宗澄	
	渡辺宗峯	
	林竹峯	

委員  
河井好月庵 札幌文化団体協議会  
香川和芳  
姉崎有峰  
阿部高大 札幌喫茶店同業組合組合長  
後藤秀郎 札幌市民憲章推進会議事務局局長  
大野雅弘 札幌市社会教育部長  
村瀬浩気 札幌市青少年婦人部長  
藤田克巳 札幌市緑化推進部長

委員 関堂安司 札幌市青少年婦人活動協会事務局局長  
事務局長 貴志 功 札幌市観光部長  
◆第二十五回さっぽろライラックまつり事務局機構  
事務局次長 石井光二 札幌市観光課長  
調整次長 松本克士 札幌観光協会専務理事  
財務部長 津田光夫 札幌観光協会常務理事  
総務部長 馬場和彦 札幌市観光課宣伝係長

年譜

さっぽろライラックまつり

年次	回数	会期	会場	主なできごとと催しもの
昭和34年 (一九五九)	1	5月29日～5月31日 (三日間)	大通西六丁目 市民会館 中島スポーツセンター	○名称「さっぽろライラック祭」 《催しもの》1前夜祭Ⅱ文化講演会、ライラック放談会、ライラックの歌詩朗読 2植樹祭 3野外演芸会 4ライラックの歌発表会、歌唱指導 5NHK「歌の祭典」 6野外演芸会 7仮装パレード 8仮装舞踏会
昭和35年 (一九六〇)	2	5月28日～5月30日 (三日間)	大通西六、七、八丁目 市民会館	○ライラックが札幌の木に選定される。人口五十万人を突破 ○初日は雨天のためプログラム変更 《催しもの》1ライラックショー 2文化人の学芸会 3植樹祭 4仮装パレード 5文化講演会 6NHK「今週の明星ショー」 7市民レクリエーションの集い
昭和36年 (一九六一)	3	5月27日～5月28日 (二日間)	大通公園 市民会館	○釧路、函館両市へライラックの苗木贈る 《催しもの》1植樹祭 2第一回写生会 3野外ページェント 4市民パーティー 5フォークダンスの夕 6文化講演会 7NHK「花の星座」
昭和37年 (一九六二)	4	5月25日～5月27日 (三日間)	大通公園 市民会館	《催しもの》1ファッシュンショー 2文化講演会 3植樹祭 4野外演奏会 5NHK「花の星座」 6野外ページェント 7野外パーティー 8フォークダンス市民パーティー
昭和38年 (一九六三)	5	5月26日～5月28日 (三日間)	大通公園 市民会館	○この回から名称を「さっぽろライラックまつり」にかえる 《催しもの》1第一回野外彫塑展 2植樹祭 3野外ページェント 4札幌交響楽団野外演奏 5ファッシュンショー 6文化講演会 7NHK「花の星座」 8第一回絵をかく運動
昭和39年 (一九六四)	6	5月29日～5月31日 (三日間)	大通公園 市民会館	○全国の八主要都市(東京、仙台、名古屋、大阪、京都、松山、広島、熊本)にライラックの苗木を寄贈 《催しもの》1植樹祭、小学校への苗木贈呈式 2第二回絵をかく運動 3野外ページェント 4第二回野外彫塑展 5ファッシュンショー 6文化講演会
昭和40年 (一九六五)	7	5月28日～5月30日 (三日間)	大通公園 市民会館	○全国の主要都市(七都市)にライラックの苗木を寄贈 《催しもの》1植樹祭 2第三回野外彫塑展 3第三回絵をかく運動 4「市民の歌」の歌唱指導と踊り 5ファッシュンショー 6文化講演会 7野外ページェント
昭和41年 (一九六六)	8	5月27日～5月29日 (三日間)	大通公園 市民会館	○植樹祭に札幌滞在中のポートランド市ルイス・アンド・クラーク大学の学生たちも参加 《催しもの》1植樹祭 2第四回絵をかく運動 3野外ページェント 4NHK札幌放送合唱団演奏会 5ファッシュンショーと洋舞踊のつどい 6第四回野外彫塑展 7野外ステレオコンサート 8NHK公開番組「それは私です」 「ミュージックパレード」 「スタジオ102」
昭和42年 (一九六七)	9	5月26日～5月28日 (三日間)	大通西五、六丁目 市民会館	《催しもの》1植樹祭 2ファッシュンショーと洋舞踊の集い 3第五回野外彫塑展 4園芸相談所 5第五回絵をかく運動 6野外ページェント(子供パレエ、民謡舞踊、吹奏楽演奏) 7NHK「花のパレード」 《協賛行事》 1市民劇場「マンドリンオーケストラ演奏会」 2北海学園大学軽音楽演奏会
昭和43年 (一九六八)	10	6月2日～6月5日 (四日間)	大通西五、六丁目 市民会館	○北海道百年、札幌市創建百年を記念して特別企画 《催しもの》1ライラックまつりパレード 2第六回絵を描く運動 3野外ページェント 4第六回野外彫塑展 5初夏におけるライテングとファッシュンとモダンダンスのコンティニューテ 6植樹祭 7NHK「あなたのメロデー」 8たそがれステレオコンサート 9北海道夏まつり祈願祭

昭和44年 (一九六九)	11	5月30日～6月1日 (三日間)	大通公園 市民会館	○高知市の「おうちまつり」と交流 ○会期中、雨のためプログラムを一部変更 《催しもの》1 植樹祭 2 第七回野外彫塑展 3 ライラックまつりパレード 4 野外ページェント 5 ライラックまつりランドショー(一部)フアッシュンショー、二部NHKのど自慢素人演芸会、三 部モダンダンスとパレー) 6 たそがれステレオコンサート 7 第一回花の北海道まつり
昭和45年 (一九七〇)	12	5月29日～5月31日 (三日間)	大通西四、五、 六、七丁目	○この回からすべての行事を屋外で催す ○植樹祭に市内養護施設の児童八人が参加 《催しもの》1 植樹祭 2 第八回野外彫塑展 3 NHK TV 『音楽の広場』 4 野外ページェント(フ アッシュンショー、民謡舞踊、子供パレー、歌唱指導、パレーとモダンダンス、吹奏楽演奏、軽音楽の 夕、合同コーラス) 5 春委市民ラジオ体操会 6 第八回絵をかく運動 7 音楽隊合同演奏 8 ライラッ クまつりパレード 9 音楽隊ドリル演奏 10 たそがれレコードコンサート 11 第二回花の北海道まつり
昭和46年 (一九七一)	13	5月28日～5月30日 (三日間)	大通西四、五、 六、七丁目	《催しもの》1 植樹祭(「ミスおうちまつり」が来訪) 2 第九回野外彫塑展 3 NHK TV 『ひるのプ レゼント』 4 市内小学校ライラック植樹 5 野外ページェント 6 第九回絵をかく運動 7 たそがれ コンサート 8 マンガ野郎展と似顔絵プレゼン 9 ライラックまつりパレード
昭和47年 (一九七二)	14	5月26日～5月28日 (三日間)	大通西五、六 丁目 市役所前庭	○今回はとくに札幌市の政令都市指定、オリンピック開催年を記念して企画 《催しもの》1 植樹祭 2 第十回野外彫塑展 3 マンガコーナーと似顔絵プレゼン 4 ミュージック タイム 5 ライラックレコードコンサート 6 ミスさっぽろ撮影会 7 フアッシュンショー 8 子供パ レー 9 ライラック苗木プレゼン 10 コーヒー無料試飲会 11 市民の絵をかく集い 12 春季市民ラジ オ体操会 13 パレーとモダンダンス 14 交響吹奏楽演奏 15 かっぱ踊り(特別出演) 《関連行事》第一 回ほっかいどう祭り
昭和48年 (一九七三)	15	5月25日～5月27日 (三日間)	大通西四、五、 六、七丁目 市役所前庭	○この回から「ライラック娘」さわやかに登場 ○錦鯉の放流はじめ 《催しもの》1 植樹祭 2 第十二回野外彫塑展 3 マンガ展示 4 似顔絵プレゼン 5 錦鯉の放流 6 ヤング・フォーク・ブラザ 7 コーヒーサービス 8 ライラックコンサート 9 春の市民ラジオ体操 会 10 ライラック讃歌(詩の朗読) 11 パレーとモダンダンス 12 応援団演技合戦 13 憩いのひととき サッポロシンフォニック
昭和49年 (一九七四)	16	5月24日～5月26日 (三日間)	大通西五、六 丁目 札幌市資料館	○新しい試みとしてライラックにちなんだ詩劇と着物ショーを企画 ○会期中天候不順 《催しもの》1 植樹祭 2 第十二回野外彫塑展 3 マンガコーナー 4 錦鯉の放流 5 油絵展 6 紙芝 居 7 工芸品・いけ花の展示 8 ライラックコンサート 9 剣詩舞 10 ヤング・フォーク・ブラザ 11 お茶のサービス 12 心で着るライラック着物ショー 13 民俗舞踊 14 子供パレー 15 野外演奏会 16 詩 劇 17 市民ラジオ体操会 18 合唱
昭和50年 (一九七五)	17	5月30日～6月1日 (三日間)	大通西五、六 丁目 札幌市資料館 市民会館前庭	《催しもの》1 植樹祭 2 マンガコーナー 3 油絵展 4 紙芝居 5 工芸品・いけ花の展示 6 人形劇 7 野だて 8 ライラックコンサート 9 似顔絵プレゼン 10 コーヒーサービス 11 剣詩舞 12 せん茶 のサービス 13 錦鯉の放流 14 映画会 15 子供パレー 16 フォークソング・とみたいちろうと共に 八丈流人太鼓 18 ラジオ体操コンクール 19 ソウルを聴こう 20 民俗舞踊 21 春を着る着物ショー 22 詩劇《協賛行事》1 八丈島フラワーカーデン 2 春の盆栽展 3 写真撮影会
昭和51年 (一九七六)	18	5月28日～5月30日 (三日間)	大通西五、六、 七、八丁目	○今回は交通安全運動、環境美化運動の推進に協力 ○会場に野鳥、カッコーのなき声を流す 《催しもの》1 ライラック市民ギャラリー 2 ジャンボ紙芝居 3 野だて 4 金曜コンサート 5 植樹 祭 6 錦鯉の放流・花の種子のプレゼン 7 コーヒーサービス 8 マイバウム贈呈(姉妹都市ミュン ヘンからプレゼン) 9 ライラックの苗木プレゼン 10 フォーク・ダンスを踊ろう 11 どさんこ太 鼓 12 ラジオ体操コンクール 13 写生会 14 あなたも参加名画に挑戦 15 ライラック娘による交通安全 ・美化推進運動 16 写真撮影会 17 ライラック音楽祭《協賛行事》札幌文学散歩
昭和52年 (一九七七)	19	5月27日～5月29日 (三日間)	大通西五、六、 七丁目	《催しもの》1 植樹祭 2 写生会 3 写真撮影会 4 野だて 5 青空文庫 6 市民音楽祭 7 錦鯉の放 流と花の種子のプレゼン 8 野だて 9 ラジオ体操コンクール 10 似顔絵プレゼン ほか
昭和53年 (一九七八)	20	5月26日～5月28日 (三日間)	大通西五、六、 七丁目	○時計台創建一〇〇年、札幌市創建一一〇年を祝って開催 《催しもの》1 ライラック市民ギャラリー 2 ジャンボ紙芝居 3 野だて 4 ライラック音楽祭 5 植 樹祭 6 金曜コンサート 7 青空文庫 8 似顔絵プレゼン 9 ライラック苗木プレゼン 10 錦鯉の 放流 11 ラジオ体操コンクール 12 写生会 13 写真撮影会 14 私立大学応援団リーダー公開 15 人形劇
昭和54年 (一九七九)	21	5月25日～5月27日 (三日間)	大通西五、六、 七、八丁目	《催しもの》1 植樹祭 2 ライラック苗木プレゼン 3 ライラックギャラリー 4 野だて 5 似顔絵 プレゼン 6 青空文庫 7 落語 8 錦鯉の放流と花の種子のプレゼン 9 人形劇 10 写生会 11 写 真撮影会 12 第一回さっぽろ音楽祭《協賛行事》1 金曜コンサート 2 第五回ラジオ体操コンクール

昭和55年 (一九八〇)	22	5月30日～6月1日 (二日間)	大通西四、五、 六七、八丁目	《催しもの》1 植樹祭 2 ライラック苗木プレゼンメント 3 ライラックギャラリ― 4 野だて 5 似顔絵 プレゼンメント 6 金曜コンサート 7 人形劇 8 青空文庫 9 錦鯉の放流 10 落語 11 第二回さっぽろ音 楽祭《協賛行事》1 文人劇 2 ラジオ体操コンクール 3 札幌アートパーク・チビツ子芸術広場
昭和56年 (一九八一)	23	5月29日～5月31日 (三日間)	大通西四、五、 六七、八丁目	《催しもの》1 植樹祭 2 金曜コンサート 3 野だて 4 ライラック市民ギャラリ― 5 青空教室 6 似顔絵コーナー 7 青空文庫 8 錦鯉の放流 9 人形劇 10 落語 11 第三回さっぽろ音楽祭《協賛行事》 1 文人劇『恒例文人忠臣蔵』2 写真撮影会 3 八丈島フラワーガーデン
昭和57年 (一九八二)	24	5月28日～5月30日 (三日間)	大通西四、五、 六七、八丁目	○ミュンヘン市との姉妹都市提携一〇周年を記念して企画 1 植樹祭 2 ライラック苗木プレゼンメント 3 金曜コンサート 4 野だて 5 ライラック市民ギャラリ― 6 孔画教室 7 似顔絵プレゼンメント 8 青空文庫 9 錦鯉の放流 10 写生会 11 写真撮影会 12 パズル・ クイズ 13 人形劇 14 青空寄席 15 ザ・チョン座 16 第四回さっぽろ音楽祭 17 喫茶コーナー
昭和58年 (一九八三)	25	5月27日～5月29日 (三日間)	大通西四、五、 六七、八丁目	《催しもの》1 植樹祭 2 ライラック苗木プレゼンメント 3 ライラック市民ギャラリ― 4 似顔絵プレゼ ンメント 5 第五回さっぽろ音楽祭 6 野だて 7 人形劇 8 錦鯉の放流と花の種子のプレゼンメント 9 青空 文庫 10 落語 11 写生会 12 写真コンテスト 13 金曜コンサート 14 青空教室(孔画) 15 喫茶コーナー

## あとがき



札幌市観光部長

## 貴志 功

このたび、過去二十五年間の歩みを編さんし、過ぎし日を顧みるとともに、この機にこれからのライラックまつりが一層市民に愛され、親しまれるまつりとなるよう期待して止みません。

本誌の製作に対しましては、まつりの関係者をはじめ多くの方々からご協力をいただき、また、まとめにあたった野田芳満氏のご労苦に深く感謝いたします。

本誌が向後の糧となり、道標のひとつとしての役割を担えるならば幸せであります。

# ライラックのうた

鷗沼 光 作詞 (更科源蔵補作)

飯田三郎 作曲

Moderato

うすむらさきの はなぶきはきたた  
うすむらさきの はなぶきはきたた  
うすむらさきの はなぶきはきたた

の おとめ の ゆめ に て うれ  
の おとめ の ほろ え こ み か ひと  
の おとめ の よろこび を ひそ

いほのかに たびと の おもい  
みすすしく たきま びとらかに あこが  
か に 告げ て まち ーに さく ーあいの

でれす ーに さく ーライラック  
ーにおた の ライラック  
ーがた の ライラック

一、うすむらさきの はなぶきは  
きたのおとめの ゆめにて  
うれいほのかに たびとの  
おもいでにさく ライラック

二、うすむらさきの はなぶきは  
きたのおとめの ほろえみか  
ひとみすすしく きよらかに  
あこがれにおう ライラック

三、うすむらさきの はなぶきは  
きたのおとめの よろこびを  
ひそかに告げて まちにさく  
あいのすがたの ライラック

## ■さっぽろライラックまつり記念誌 二十五年のあゆみ

昭和59年5月20日印刷／昭和59年5月25日発行

発行 札幌市

編集 札幌市経済局観光部

札幌市中央区北一条西二丁目  
電話(〇一一)二二二一―二二七六

印刷 三陽印刷株式会社



さっぽろ市  
59-1-Q10

さっぽろ音楽祭



1984